

1 1 農業災害防止等に関する施策

■ 活動火山周辺地域防災営農対策事業【継続】

【令和8年度予算額 1,449,883千円】

財源（国庫：976,524千円，特定：118,570千円，
一財：354,789千円）

<対策のポイント>

火山活動に伴う降灰等による農作物への被害を防止・軽減するため、「防災営農施設整備計画」に基づき、被覆施設や洗浄施設の整備等を行う。

<政策目標>

降灰等による農作物被害の防止・軽減
第18次防災営農施設整備計画（令和8～10年）

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

降灰等による被害を防止・軽減するため、被覆施設や洗浄施設の整備等を行い、農業者の経営安定、地域農業の健全な発展を図る

2 事業主体（※負担割合）

市町村，農業協同組合，土地改良区，農業者団体等
（被害激甚地域 100分の75以内
一般地域 100分の65以内
被覆資材の更新 100分の50以内）

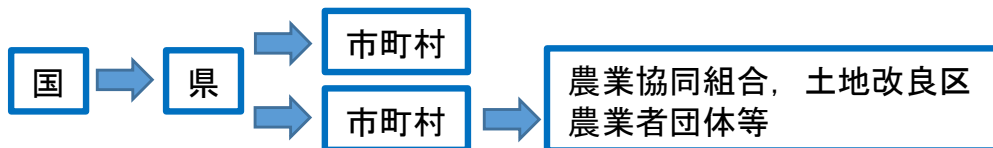
3 事業内容

- (1) 降灰地域土壌等矯正事業
- (2) 降灰防止・降灰除去施設等整備
 - ・畑地かんがい施設整備
 - ・降灰地域茶安定対策
 - ・降灰地域たばこ安定対策
 - ・降灰地域野菜安定対策
 - ・降灰地域花き安定対策
 - ・降灰地域果樹安定対策
 - ・降灰地域飼料作物確保対策

4 事業期間

昭和50年～

<事業の流れ・補助率等>



<事業イメージ>

<火山噴火による被害>



インゲン



茶



飼料作物

<降灰対策の実施>



被覆施設



摘採前洗浄施設



飼料作物収穫調製用等機械施設

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課地域農業振興係（099-286-3113）

5 担い手の確保及び育成に関する施策（5（1））

■ かごしまの農業未来創造支援事業【継続】

【令和8年度予算額 322,479千円】

財源（国庫：116,000千円，特定：55,000千円，
一財：151,479千円）

<対策のポイント>

新規就農者を確保・育成するため、就農後の機械・施設等の導入を支援するとともに、地域の特性を生かした営農確立に向け共同機械導入等を支援します。

- | | | |
|--------------|-------------------|------------------|
| ※ 未来創造ビジョン体系 | 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 | 1 人づくり・地域づくりの強化 |
| ※ マニフェスト項目 | 2 「稼ぐ力」の向上 | ○ 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 |

<事業の内容>

<事業のイメージ>

1 目的（必要性、背景）

本県の農業の未来を担う新規就農者を確保・育成するため、就農後の機械・施設等の導入を支援するとともに、地域の特性を生かした営農確立に向け共同機械導入や小規模なかんがい排水等の整備を支援します。

2 事業主体等

- (1) 市町村（国・県3/4以内）
 <交付対象者>50歳未満の認定新規就農者等
 （農業開始年度に要件あり）
- (3) 市町村，農業協同組合，土地改良区（県4/10以内）
- (2), (4) 市町村，3戸以上の農業者で組織する団体等（県1/3以内等）

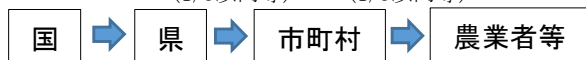
3 事業内容

- (1) 新規就農者育成対策
 機械・施設等の取得・改良又はリース，家畜導入，果樹・茶の新植・改植等
- (2) 産地づくり対策
 栽培施設，共同利用機械，共同利用施設等
- (3) 農業農村整備対策
 かんがい排水，畑地かんがい，農道，客土等
- (4) 農村づくり対策
 環境施設，加工施設，交流施設等

4 事業期間：令和4年度～

<事業の流れ・補助率等>

- | | | | |
|----------|---------|----------|----------|
| (1) | (1/2以内) | (3/4以内) | (3/4以内) |
| (3) | | (4/10以内) | (4/10以内) |
| (2), (4) | | (1/3以内等) | (1/3以内等) |



【新規就農者育成対策】



【産地づくり対策等】



※(2), (3), (4)については、原則として、国等他の補助事業の対象とならないものが対象です。

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課地域農業振興係（099-286-3113）

1 2 農村振興に関する施策（1 2（1））

■ 奄美農業支援プロジェクト事業【継続】

【令和8年度予算額 1,657千円】
財源（特定）

<対策のポイント>

イオン九州株式会社及び株式会社ダイエーからの寄付金を財源として、奄美群島の農業・農村振興等に寄与することを目的に、奄美群島の農産物等の生産対策や販売強化を目指した取組を支援する。

<政策目標>

奄美群島の農業産出額の増加

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

奄美群島の農業・農村の振興を図るため、奄美群島の農産物等の生産対策や販売強化を目指した取組を支援する。

2 事業主体（※負担割合）

奄美群島農政推進協議会（定額）

3 事業内容【予算額：1,657千円】

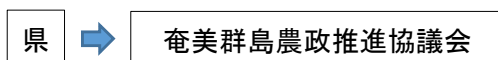
- (1)農産物の生産対策への支援
- (2)販売強化を目指した取組への支援

4 事業期間

令和7～9年度（3か年）

<事業の流れ・補助率等>

（定額）



<事業イメージ>



研修会の開催・実証ほ展示による地域への技術波及



有利販売に向けた品評会の開催やPR活動

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課地域農業振興係（099-286-3113）

2 食育及び地産地消に関する施策（1, 2, 9(7))

■ かごしまの“食”推進事業【継続】

【令和8年度予算額 8,431千円】

財源（国庫4,434千円，繰入金1,607千円，一財：2,390千円）

<対策のポイント>

かごしまの“食”交流推進計画に基づき，幼児から大人に至る県民が家庭，学校，職場，地域社会などでライフステージに合わせて，地産地消を基本とした健全な食生活を実現できるよう，「かごしまの“食”」を推進します。

<政策目標>

食育推進基本計画及び県食育推進計画（かごしまの“食”交流推進計画）の目標の達成

<事業の内容>

1 目的（必要性，背景）

地産地消を基本とした健全な食生活の実現を図るため，食育を担う人材の育成や，地産地消への理解促進の取組を進めるとともに，市町村等が行う取組を支援する。

2 事業主体

(1) (2) 県，(3) 市町村，民間団体

3 事業内容 【予算額：8,431千円】

(1) 推進体制の整備

(2) かごしまの“食”活動推進

ア つなぐ！食育推進ネットワーク構築
 ・食育推進に向けたネットワークの充実
 ・食育に係る人材育成 ・「大人の食育」の推進

イ 「かごしまの“食”」の理解促進

・かごしま地産地消推進店，サポーターの登録・支援
 ・若い世代への県産農産物等の理解促進
 ・「かごしまの米」の理解促進と消費推進

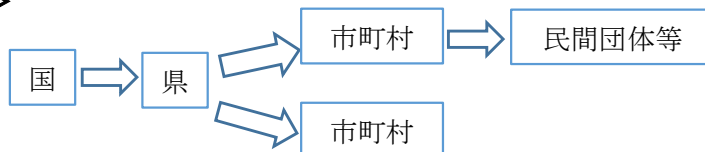
(3) 市町村等推進事業（補助事業）

4 事業期間

令和8年度～令和12年度（5か年）

<事業の流れ>

3(3)：1/2補助



<事業イメージ>

かごしまの“食”活動推進



食育に係る人材育成



子どもたちの食育支援



若い世代への県産農産物の理解促進



かごしま地産地消推進店・
地産地消サポーターの登録・支援

市町村等推進事業



学校給食における地場産物活用の促進



学校での農業体験学習

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課かごしまの食輸出・ブランド戦略室
6次産業化支援係（099-286-3194）

3 安全で安心な農畜産物の安定供給及び農業資材の確保に関する施策（3（1））

■ かごしまの農林水産物認証制度普及事業【継続・拡充】

【令和8年度予算額 9,630千円】

財源（国庫：6,906千円，一財：2,724千円）

<対策のポイント>

「かごしまの農林水産物認証制度」や国際水準GAPの普及を図り，安心・安全な県産農林水産物の生産を促進します。

<政策目標>

GAPの取組拡大及び認証制度の認知度向上

※ 未来創造ビジョン体系 4-10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化，付加価値の向上

※ マニフェスト項目 02 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性，背景）

国際水準GAPガイドラインに準拠した新K-GAPの認証取得促進や普及を進めるとともに，GAP指導員の育成や農業教育機関における認証取得等の支援を行い，GAPの取組拡大を図る。

2 事業主体

3（1）～（4）：県，3（5）：農業者団体，3（6）：生産者等

3 事業内容

- (1) 認証制度の向上及び推進 【予算額：533千円】
推進方策や認証基準等の検討 等
- (2) 普及組織等によるGAP手法の導入・普及 【予算額：110千円】
生産者に対するGAPの普及指導
- (3) 消費者及び流通事業者等への理解促進 【予算額：673千円】
PRフェアの開催，マイスターの認定 等
- (4) 国際水準GAPの取組促進 【予算額：1,564千円】
GAP推進セミナーの開催，GAP指導員資格取得支援 等
- (5) 国際水準GAPの認証取得への支援 【予算額：5,100千円】
農業教育機関等の国際水準GAPの認証取得の支援
- (6) K-GAPロゴマークの認知度向上 【予算額：1,650千円】
包装資材の版代に要する経費の支援

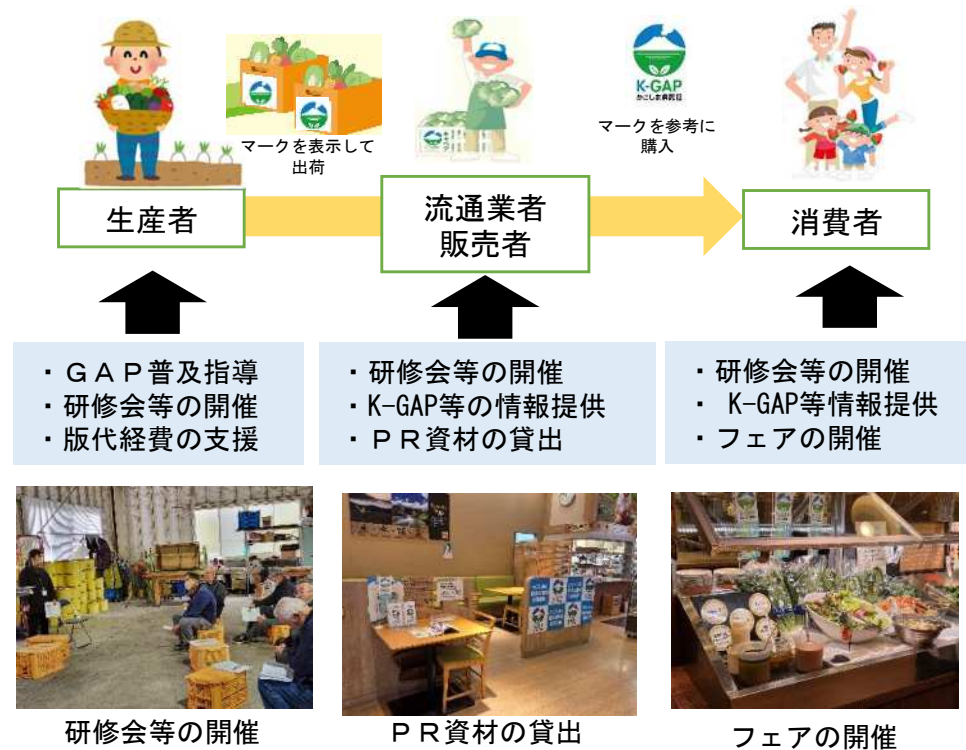
4 事業期間

3（1）～（5） 令和8～10年度 3（6） 令和8年度

<事業の流れ> 3（5）：定額補助，3（6）：1/2補助

県 ⇨ 農業者団体，生産者等

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課かごしまの食輸出・ブランド戦略室
食の安全推進係 （099-286-3177）

3 安全で安心な農畜物の安定供給及び農業資材の確保に関する施策（3（1））

■ 食品表示適正化推進事業【継続】

【令和8年度予算額 4,413千円】
財源（一財：4,413千円）

<対策のポイント>

食品表示法や米トレサビリティ法（以下、「米トレ法」という。）の普及・啓発，食品関連事業者等への食品表示状況や米穀の産地情報等の調査・監視を行います。

<政策目標>

食の安心・安全推進基本計画における食品表示法（品質事項）に基づく食品表示の適正表示率100%（令和12年度）

※ 未来創造ビジョン体系 4-6 安心・安全な県民生活の実現 2 どこよりも安全で安心して暮らせる地域社会づくり

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

食品表示法（品質事項）及び米トレ法の普及，啓発や食品表示等の適正化を推進する。

2 事業主体

県

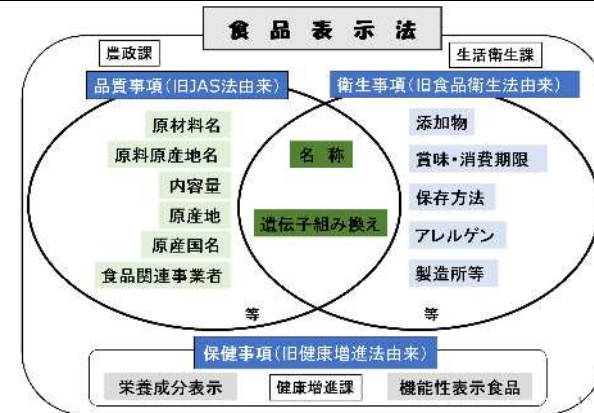
3 事業内容【予算額：4,413千円】

- (1) **食品関係機関の連携強化** 【予算額：3千円】
 - ・食品表示に関する連絡会議等の開催
- (2) **食品表示法（品質事項）及び米トレ法の普及・啓発** 【予算額：72千円】
 - ・食品表示制度説明会の開催（各地域振興局及び支庁で開催）
 - ・食品関連事業者等を対象とした講習会への講師派遣
 - ・食品表示法（品質事項）等に関する広報
- (3) **食品関連事業者に対する監視指導** 【予算額：217千円】
 - ・食品関連事業者への食品表示実態調査の実施
 - ・不適正表示に係る疑義情報への対応
- (4) **食品関連事業者等からの食品表示及び米トレ法に関する相談対応** 【予算額：105千円】
- (5) **食品表示調査員による表示適正化に係る活動** 【予算額：4,016千円】

4 事業期間

平成15年度～

<事業イメージ>



食品表示法のイメージ図



食品表示制度講習会



食品表示の監視

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課かごしまの食輸出・ブランド戦略室
食の安全推進係（099-286-3177）

3 安全で安心な農畜物の安定供給及び農業資材の確保に関する施策（3（1））

■ 安心・安全な食の鹿児島づくり推進事業【新規】

【令和8年度予算額 2,082千円】
財源（一財：2,082千円）

<対策のポイント>

鹿児島県食の安心・安全推進条例に基づき、食品の安全確保、県民の健康の保護、食品等に対する県民の信頼確保に関する施策を推進する。

<政策目標>

食の安心・安全推進基本計画における食の安心・安全の確保に関する理解度90%（令和12年度末）

※ 未来創造ビジョン体系 4-6 安心・安全な県民生活の実現 2 どこよりも安全で安心して暮らせる地域社会づくり

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

県食の安心・安全推進条例や「第4次基本計画」に基づき、県民の健康保護、食品等に対する県民の信頼確保、安全な食品等の生産及び供給を図るため、リスクコミュニケーションの実施や食の安心・安全に関わる人材の育成、食品の自主回収等の取組等を引き続き推進する。

2 事業主体

県

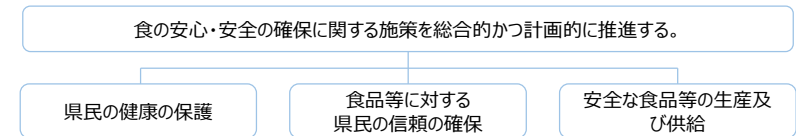
3 事業内容【予算額：2,082千円】

- (1) 条例に基づく審議機関の運営 【予算額：756千円】
- (2) 食に関する関係機関・団体との連携 【予算額：134千円】
- (3) 食の安心・安全の確保に向けた情報発信、人材育成、リスクコミュニケーションの推進 【予算額：941千円】
 - ・食の安全・安心に関心がある方（パートナー）へのメールマガジン等による情報発信
 - ・食の安心・安全に関するセミナーの開催
 - ・地域における自主的なリスクコミの取組支援
- (4) 食品衛生への自主的な取組の促進 【予算額：221千円】
 - ・施設への重点指導及び自主衛生推進検討会の開催
- (5) 自主回収報告制度の運用等 【予算額：30千円】
 - ・自主回収報告事案への対応及び検収終了時の現場確認等の実施

4 事業期間

令和8年度～令和12年度

<事業イメージ>



- 生産者及び食品関連事業者
食品等の生産から販売に至る一連の行程の各段階において、必要な措置を主体的かつ適切に講ずる
- 県民
関係する知識及び理解を深めるとともに、食品等の消費に当たっては、人の健康に悪影響を及ぼすことのないよう、適切な行動に努める
- 県
食の安心・安全の確保に関する施策を総合的かつ計画的に推進する



リスクコミュニケーション現地研修会



GAP&食の安心・安全推進セミナー

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課かごしまの食輸出・ブランド戦略室
食の安全推進係（099-286-3177）

9 生産振興，販売，流通等に関する施策（9（2））

■ 「かごしまブランド」確立推進事業【継続】

【令和8年度予算額 765千円】
財源（一財 765千円）

<対策のポイント>

県産農畜産物の付加価値向上に向けて，関係機関・団体一体となって「かごしまブランド」確立運動を総合的に推進します。

<政策目標>

令和9年度のかごしまブランド産品販売額：令和元年度比11%増（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 4-10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 3 販路拡大・輸出拡大

※ マニフェスト項目 02 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性，背景）

県産農畜産物のブランド力を高めるため，生産者団体，流通関係者，行政機関等が一体となって，県産農畜産物の生産拡大と消費宣伝対策等に取り組む。

2 事業主体

県

3 事業内容

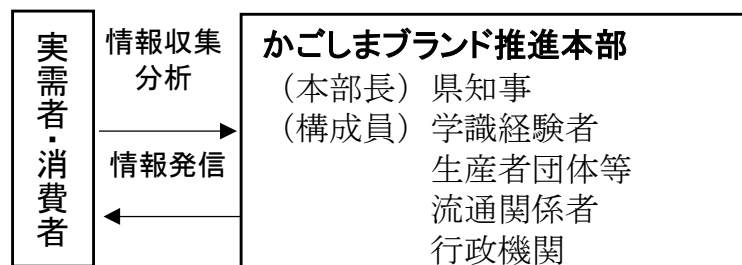
かごしまブランド確立運動の推進 【予算額：765千円】

- (1) かごしまブランド推進本部会議の開催
- (2) 研修会の開催
- (3) かごしまブランド制度等の周知

4 事業期間

平成6年度～令和8年度（3か年）

<事業イメージ>



連携



作目別協議会等

県園芸振興協議会
県茶業会議所
鹿児島黒牛黒豚銘柄販売促進協議会
県黒豚生産者協議会
県地鶏振興協議会
県米・麦等対策協議会

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課
かごしまの食輸出・ブランド戦略室 ブランド対策班
(099-286-2888)



かごしまブランド推進本部会議



流通研修会の開催

■ **かごしまの食販売促進強化事業【拡充】**

【令和8年度予算額 23,851千円】

財源（一財：23,551千円，特定財源：300千円）

＜対策のポイント＞

安心・安全で良質な県産農畜産物のブランド力を高めるため、安定的に生産・出荷できる産地づくりと、県産農畜産物のイメージアップや各産品の特性等に応じた販路拡大に取り組みます。

＜政策目標＞

令和9年度のかごしまブランド産品販売額：令和元年度比11%増（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 4-10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 3 販路拡大・輸出拡大

※ マニフェスト項目 02 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

＜事業の内容＞

1 目的（必要性、背景）

安心・安全で良質な県産農畜産物を安定的に生産・出荷できる産地づくりと県内外でのPRによる販売促進を図る。また、本県産品のブランド力向上のシンボルとなりうる高付加価値産品をプレミアムブランドとして構築するため、収量・品質向上に向けた課題整理やPR戦略の策定など、意欲的な産地（生産者組織）等の取組を支援する。



2 事業主体（※負担割合）

県（10/10）

3 事業内容

(1) 県産農畜産物の産地づくりと販路拡大 [予算額：10,889千円]

① 産地づくり

- ア 品質の高位平準化に向けた取組支援
- イ GI産品の登録申請に向けた個別支援と登録産品PR

② 県産農畜産物のイメージアップによる販路拡大

- ア 県内外のかごしまブランド販売指定店等における販売促進活動
- イ ウェブサイトやSNSを活用した県産農畜産物の情報発信
- ウ 調理師専門学校等と連携した認知度向上への取組

(2) 高付加価値産品のブランド力向上と販路拡大 [予算額：12,962千円]

① 産地づくり (1)-①と連動

② 県産農畜産物のイメージアップによる販路拡大

- ア 高級果物店等と連携したイベント開催（認知度向上）
- イ プレミアムブランド構築に向けた取組



かごしまの食輸出・ブランド戦略室
http://www.kagoshima-shoku.com

＜事業イメージ＞

〇かごしまブランド産品をはじめとする県産農畜産物の販路拡大



【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農政課

かごしまの食輸出・ブランド戦略室 ブランド対策班(099-286-2888)



9 生産振興、販売・流通等に関する施策（9（5））

■ 農産物卸売市場流通効率化緊急支援事業【新規】

【令和8年度予算額 8,500千円】

財源（国庫：8,500千円）

<対策のポイント>

地方卸売市場を対象に、物流合理化や業務改善など、流通の効率化につながる取組を支援し、市場機能の向上を図るとともに、生産者が安定的かつ有利に農産物を出荷できる環境の整備に取り組めます。

<政策目標>

地方卸売市場の流通効率化に資する機器の導入による経費削減、業務時間の短縮

※ 未来創造ビジョン体系 4-10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 3 販路拡大・輸出拡大

※ マニフェスト項目 02 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）



<事業の内容>

1 必要性、背景

- 電力価格の高騰や資材・人件費の上昇により、地方卸売市場の運営コストが増加し、老朽化した設備更新や業務改善の取組が進みにくい状況となっている。特に、市場は冷蔵・照明等のエネルギー需要が大きく、電気料金の上昇が経営に直接的な負担となっている。
- 物流人手不足が深刻化する中、作業効率の低下や安全性の確保も課題となっており、流通機能の維持に支障を来すおそれがある。
- また、市場機能の低下は、集出荷の停滞や価格形成機能の弱体化につながり、生産者が安定的に出荷・販売できる環境の確保に支障を来す懸念がある。
- このため、エネルギー効率の高い設備導入や物流・業務の合理化を支援し、市場機能の強化と安定的な生鮮流通体制の確保を図る必要がある。

2 目的

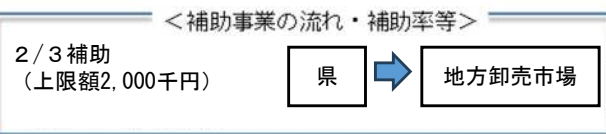
地方卸売市場を対象に、物流合理化や業務改善など、流通の効率化につながる取組を支援し、市場機能の向上を図るとともに、生産者が安定的かつ有利に農産物を出荷できる環境を整備し、農家所得の向上・経営安定に資する。

3 事業主体

県（補助対象者：地方卸売市場開設者）

4 事業期間

令和8年度（1か年）



<事業イメージ>

○物流合理化や業務改善など、流通の効率化につながる取組

①物流の合理化に向けた取組支援

【例】・市場内の動線改善

（荷さばき場や搬出入動線の再配置、標識整備）

・トラック待機時間の短縮に向けた予約システム導入

②ICT等を活用した業務の効率化

【例】・取引情報のデジタル化

（入荷・販売情報の電子管理、電子帳票化）

・市況情報の配信システム整備

・出荷者・買受人へのオンライン情報提供基盤の構築

③施設・設備の改善による市場機能の強化

【例】・荷さばき場・卸売場の改修

（床面補修、老朽化設備の更新 等）

・照明LED化や空調効率化など、省エネルギー化設備の導入



【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農政課

かごしまの食輸出・ブランド戦略室 ブランド対策班(099-286-2888)

9 生産振興, 販売, 流通等に関する施策 (9 (4))

■ かがしま農山漁村発イノベーション推進関連事業

【令和8年度予算額 36,047千円】

財源 (国庫: 31,773千円, 一財: 4,274千円)

<対策のポイント>

県産農林水産物の付加価値向上を図るため, 関係機関・団体と連携し, 6次産業化事業者等への継続的な支援を行います。

<政策目標>

令和9年度末までの県産農林水産物を活用した加工品等の新規商談成立数: 100件/(令和元年度~令和9年度)

(「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における目標値)

※ 未来創造ビジョン体系 4-10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化, 付加価値の向上

※ マニフェスト項目 02 「稼ぐ力の向上」(農林水産業の「稼ぐ力」の向上)

<事業の内容>

1 目的 (必要性・背景)

県産農林水産物の付加価値向上を図るため, 6次産業化を担う人材の育成や, 商談・販売機会の提供等による販路開拓を支援するとともに, 農商工連携を推進する。

2 事業主体 県

3 事業内容 【予算額: 36,047千円】

(1) 支援体制の整備・運営

鹿児島地域資源活用・地域連携サポートセンターの設置・運営

(2) 農山漁村発イノベーションを担う人材育成

人材育成研修会の開催等

(3) 農商工連携の推進

異業種交流会の開催

(4) 販路開拓の支援

商談機会及び販売機会の提供等

(5) 県産農林水産物の付加価値化支援

県産農林水産物を活用した新商品開発及び販路開拓支援

(6) 商品力向上支援(補助事業)

商品パッケージの開発・改良経費や販促資材作成費等の助成

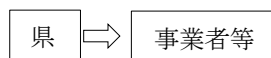
4 事業期間

令和7年度~令和9年度

<補助事業の流れ・補助率等>

3(6): 2/3補助

(上限額1,000千円)



<事業イメージ>

国

- 九州農政局 (県拠点)
- 中央サポートセンター(中央プランナー)

↑ ↓
連携

県

- 鹿児島地域資源活用・地域連携サポートセンター(地域プランナー)
- かごしまの食輸出・ブランド戦略室
- 大隅加工技術研究センター
- 各地域振興局・支庁 等

各種支援

- 経営改善
- 商品開発
- 加工技術
- 販路開拓
- 食品加工事業者との連携

6次産業化
事業者等

連携 →

・市町村
・関係機関



商談会の開催



県内外でのマルシェ開催

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課かごしまの食輸出・ブランド戦略室
6次産業化支援係 (099-286-3194)

9 生産振興, 販売, 流通等に関する施策 (9(4), 9(5), 10(1), 10(2))

■ 大隅加工技術研究センター関連事業【継続】

【令和8年度予算額 82,920千円】

財源(特定:6,509千円, 一財:76,411千円)

<対策のポイント>

県産農産物の付加価値を高めるため, 生産・加工・流通技術等の研究・開発を推進するほか, 食品加工事業者等への支援を行う。

<政策目標>

令和9年度末までの県産農林水産物を活用した加工品等の新規商談成立数:100件/令和元年度~令和9年度

※ 未来創造ビジョン体系 4-10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化, 付加価値の向上

※ マニフェスト項目 02 「稼ぐ力の向上」(農林水産業の「稼ぐ力」の向上)

<事業の内容>

1 目的

県産農産物等の付加価値向上を図るため, 生産・加工・流通技術の研究開発を進めるとともに, 加工事業者への技術支援等を行う。

2 事業主体

県

3 事業内容 【予算額:82,920千円】

(1) 大隅加工技術研究センター運営事業

センターの円滑な運営・管理

(2) 大隅加工技術研究センター企画調整事業

試験研究成果の広報や普及, 指導等

(3) 大隅加工技術研究センター試験研究事業

生産・加工・流通技術等に関わる試験研究
公募型試験研究等

(4) 食品加工事業者連携推進事業

食品事業者等の販路開拓の支援

4 事業期間

(1), (2), (4) 平成27年度~

(3) 令和5~10年度 (公募型試験研究は平成27年度~)

<事業イメージ>

企画・支援

- 加工技術や品質評価, 販路開拓等の各種相談に対応
- 食品加工等に関する各種研修会の開催
- 食品加工事業者連携推進員による事業者訪問

施設の開放

- 各種加工機器・施設を開放し, 食品加工事業者等の商品開発を支援
 - 一次加工品から高次加工品の試作が可能
 - 営業許可等を取得すると, 試作品の試験販売も可能

研究・開発

- 生産・加工・流通技術の研究・開発を推進
 - ◆ 新たな価値を生み出す県産農産物の食品素材化技術の開発
 -  干しいも ドライフルーツ 粉末
 - 加工適正や品質特性把握 未利用部等の活用
 - ◆ 県産農産物のブランド力向上に向けた流通貯蔵・評価技術の開発
 - 
 - 貯蔵病害対策や品質変化の抑制
 - ◆ 地域農業と食品産業の多様なニーズに対応する加工技術の開発
 -  菓子素材 FD製品等
 - 低コスト及び新たな加工技術の開発等
 - ◆ 新規需要を創出する加工・業務用野菜の生産技術の開発
 - 
 - フロッキー茎葉利用品種選定

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課かごしまの食輸出・ブランド戦略室

6次産業化支援係 (099-286-3194)

9 生産振興, 販売, 流通等に関する施策 (9 (6))

■ かごしまの農林水産物輸出促進ビジョン推進事業

【令和8年度予算額 79,413千円】

財源 (国庫: 72,444千円, 一財: 6,969千円)

※ 令和7年度3月補正繰越額 39,264千円(国庫)を含む

<対策のポイント>

県産農林水産物の更なる輸出拡大を図るため, 輸出先の多角化や意欲的な生産者の掘り起こし, 輸出産地の育成支援, 海外におけるフェアの開催など, 生産体制と販売力の強化に取り組む。

<政策目標>

令和12年度における県産農林水産物等の輸出額: 約800億円 (「『南の宝箱 鹿児島』輸出拡大ビジョン」における目標値)

※ 未来創造ビジョン体系 4-10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 3 販路拡大・輸出拡大

※ マニフェスト 2 「稼ぐ力」の向上 (農林水産業の「稼ぐ力」の向上)

No. 5 マーケットインの発想で国内外における販路開拓・拡大に取り組めます。

令和7年度の輸出目標額約500億円の達成に向けて輸出商社に対する支援や産地形成等に取り組めます。



<事業の内容>

1 目的

「『南の宝箱 鹿児島』輸出拡大ビジョン」に掲げる, 令和12年度輸出額約800億円を目指して, アジア, 米国, EUなどへの県産農林水産物等の輸出拡大を図るため, 官民一体となって「生産体制」と「販売力」の強化に取り組む。

2 事業主体

県 (事業対象者: 生産者・集出荷事業者等)

3 事業内容 【予算額(1)~(2):40,149千円, (3):39,264千円】

(1) 輸出に意欲的な生産者等への支援

ア GFP鹿児島による輸出に意欲的な生産者への伴走支援
イ かごしまの食グローバルファーマー育成支援 (補助事業)

(2) 海外PR・販売促進活動の強化【拡充】

ア 海外フェア等を活用した県産農産物等のPR
イ 大規模商談会への出展
ウ 品目横断的な統一PR資材の作成等

(3) 大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト (補助事業)

4 事業期間

令和8年度~12年度

<補助事業の流れ・補助率等>

3(1)イ: 2/3補助

(上限額1,500千円)

3(3): 10/10補助

県 ⇨ 生産者等

<事業イメージ>

輸出に意欲的な生産者の確保・育成



輸出向け産地づくりへの支援



国際水準GAPの取得支援等



輸出促進セミナーの開催等による伴走支援

海外PR・販売促進活動の強化



インバウンド客に向けた県産農産物のPR



海外における鹿児島フェアの開催

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部かごしまの食輸出・ブランド戦略室 輸出戦略係 (099-286-3093)

1.2 農村振興に関する施策（1.2（1））

■ むらづくり活動推進事業

（かごしまの未来むらづくり支援事業）【拡充】

【令和8年度予算額 27,484千円】

財源（国庫：14,000千円，特定：13,484千円）

<対策のポイント>

農村環境の維持・保全に係る新たな仕組みづくりなどにより，持続可能な農村集落の実践活動を支援します。

<政策目標>

農村RMOモデル形成支援に取り組む地区数（事業採択地区） 現況（R7）3地区→目標（R12）8地区

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性，背景）

農業生産や生活・経済の基盤である農村集落の維持を図る。

2 事業主体（※負担割合）

3(1)，3(2)イ，3(3)，3(4)イ 県（県10/10）

3(2)ア 地域協議会等（国10/10）

3(4)ア 農業集落等（県10/10）

3 事業内容

(1) 農村集落を担う人材の確保・育成【予算額：2,921千円】

かごしま農村創生塾，むらづくり活動推進研修会等

(2) 持続可能な農村集落の育成【予算額：19,500千円】

ア 農村RMOモデル形成支援（補助金）

イ 話し合い活動及び実践活動の推進支援

(3) むらづくり活動の波及【予算額：1,076千円】

(4) 農村経済の活性化及び農村関係人口の拡大に向けた取組支援

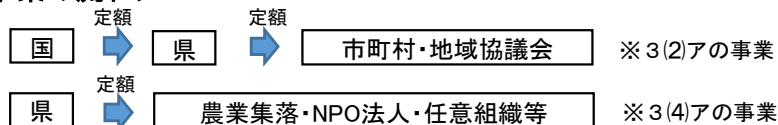
【予算額：4,498千円】

ア かごしまの未来むらづくり応援事業（補助金）

イ 大学との連携活動支援（委託）

4 事業期間 令和8～12年度（5か年）

<事業の流れ>



<事業イメージ>

農村集落を担う人材の確保・育成



かごしま農村創生塾



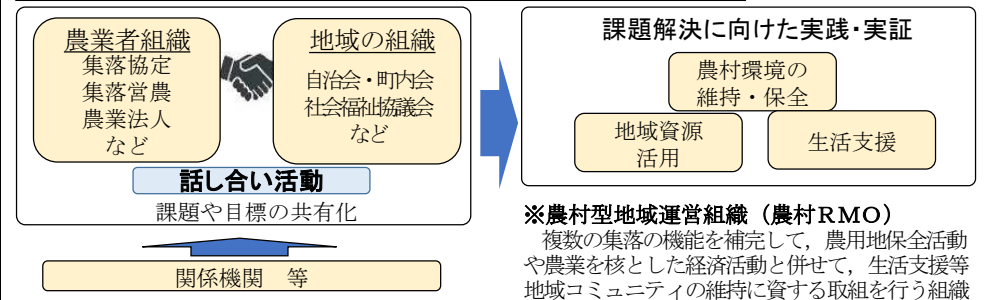
むらづくり活動研修会

大学との連携活動支援



現地調査の様子

持続可能な農村集落の育成（農村RMOモデル形成支援）



農村経済の活性化及び農村関係人口の拡大に向けた取組支援 （かごしまの未来むらづくり応援事業）

- ・地域資源を活用した新たなしごとづくり
- ・農村関係人口拡大に向けた取組

多様な形で
農村に関わる
人材の確保



空き家改修ワークショップ

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課むらづくり推進係（099-286-3108）

1.2 農村振興に関する施策（1, 9（7）, 1.2（1））

■ むらづくり活動推進事業

（むらとつながる農村体験事業）【継続】

【令和8年度予算額 5,296千円】
財源（特定：5,296千円）

<対策のポイント>

農村地域と連携し、地域資源を活用した農村体験プログラムの開発やモニターツアーの実施、農村体験プログラムに関する情報発信等を支援します。

<政策目標>

農村体験プログラム数 現況（R6）26プログラム → 目標（R9）39プログラム

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的

地域資源を活用した農村体験プログラムを企画開発し、都市と農村の交流人口拡大による「稼ぐ力」の向上を目指すとともに、農村地域の関係人口の増加による、農村集落の活性化を図る。

2 事業主体 県（10/10）

3 事業内容

農村体験プログラムの仕組みづくりと実証

(1) 中間組織を主体とした農村体験プログラムの仕組みづくり

- ・持続可能な農村体験プログラムの受入体制整備
- ・インバウンドを見据えた農村体験プログラムの整備

(2) 新たな農村体験プログラムの実証

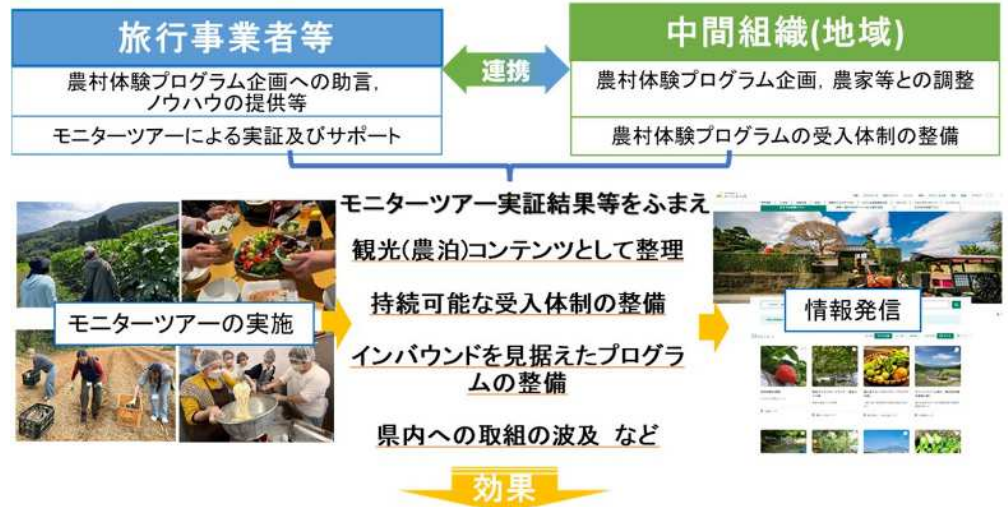
- ・交流人口の増加につながる農村体験プログラムの実証
- ・関係人口の増加につながる農村体験プログラムの実証

(3) 情報発信

4 事業期間

令和7～9年度（3か年）

<事業イメージ>



農村体験プログラムのニーズ把握 農村地域の関係・交流人口の増加
農村体験プログラムの整備・定着による農村地域の所得向上

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課むらづくり推進係（099-286-3108）

12 農村振興に関する施策（12（1），12（2））

■ 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

（中山間ふるさと・水と土保全対策事業）【継続】

【令和8年度予算額 9,453千円】
財源（特定）

<対策のポイント>

中山間地域における農地や土地改良施設の利活用を基本とする地域住民活動の多様な展開を促進します。

<政策目標>

ワークショップによる地域資源保全計画の作成支援地区数（令和12年度）：10地区

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性，背景）

中山間地域において，農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため，人材の育成，施設や農地の利活用及び保全整備等を促進する。

2 事業主体（※負担割合）

県（中山間地域等保全対策基金：国1／3，県2／3）

3 事業内容

(1) 調査研究事業

ふるさと探検隊の実施

ふるさと水土里の探検隊の実施 等

(2) 研修事業

施設補修技術研修会の開催

草刈り初心者向けの研修会の開催 等

(3) 推進事業

省力化技術普及研修会の開催 等

4 事業期間

平成5年度～

<事業イメージ>

ふるさと探検隊（ふるさと水土里の探検隊）の取組

- 地域を複数のコースに分けて集落点検を実施
- 点検結果をもとに集落点検マップを作成し課題等の把握
- 地域住民によるワークショップ活動
 - ・ 点検マップによる地域資源の評価や課題整理
 - ・ 課題解決に向けた改善策の検討や保全活動計画の作成



【集落点検】



【課題等の把握】



【地域資源の評価や課題整理】

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課むらづくり推進係（099-286-3108）

1 2 農村振興に関する施策(1 2 (1), 1 2 (2))

■ 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

(棚田地域等保全対策事業) 【継続】

【令和8年度予算額 15,480千円】
財源(特定)

<対策のポイント>

棚田地域等の機能を良好に発揮させるため、農地等の保全・利活用に係る都市住民も交えた継続的な地域住民の共同活動を推進します。

<政策目標>

指定棚田地域数(令和11年度): 7地域

※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 02 「稼ぐ力の向上」(農林水産業の「稼ぐ力」の向上)

<事業の内容>

1 目的(必要性, 背景)

棚田地域において、農地等の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、人材の育成、施設や農地の利活用及び保全整備等を促進する。

2 事業主体(※負担割合)

県(中山間地域等保全対策基金: 国1/3, 県2/3)

3 事業内容

(1) 保全ネットワーク推進事業

保全活動への都市住民等の参加促進を図るために行う普及・啓発及び情報の収集・提供(棚田カードの作成・配布, 棚田パネルの展示, 棚田体験セミナーの開催等)

(2) 保全活動推進事業

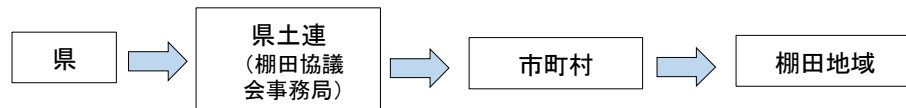
住民組織が行う保全活動の推進(組織に対する助言・指導)

(3) 保全活動支援事業(補助金)

住民組織等が行う保全活動への支援
(農地や農業施設の保全活動, 都市住民等との交流等への支援)

4 事業期間 平成10年度~

<事業の流れ 3(3)>



<事業のイメージ>

保全ネットワーク推進事業

都市住民等の保全活動への参加を促進



【棚田カードの作成】



【棚田セミナーの開催】



【棚田パネルの展示】

保全活動推進事業

住民組織等が行う保全活動への支援



【農道補修】

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課むらづくり推進係 (099-286-3108)

1 2 農村振興に関する施策(7 (4), 1 2 (1), (2))

■ 多面的機能支払交付金【継続】

令和8年度予算額 1,771,031千円

財源(国庫:1,196,886千円, 一財:574,145千円)

<対策のポイント>

地域共同で行う, 多面的機能を支える活動や農地, 水路, 農道など地域資源の質的向上を図る活動を支援します。

<政策目標>

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援する。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 02 「稼ぐ力の向上」(農林水産業の「稼ぐ力」の向上)

<事業の内容>

1 目的(必要性, 背景)

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため, 地域の共同活動を支援する。

2 事業主体(※負担割合)

- (1) 農業者等で構成される活動組織
(国1/2以内, 県1/4以内, 市町村1/4以内)
- (2) 県, 市町村等(国10/10)

3 事業内容

- (1) 多面的機能支払交付金(図1のとおり)
「農地維持支払」, 「資源向上支払」
- (2) 多面的機能支払推進交付金
県, 市町村等による事業の推進

4 事業期間

平成26年度～

<事業の流れ・補助率等> ※交付単価は図2のとおり



※3(1)の事業

<事業イメージ>

図1

農地維持支払

- ・農地法面の草刈り, 水路の泥上げ, 農道の路面維持等
- ・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化, 地域資源の保全管理に関する構想の策定等



農地法面の草刈り



水路の泥上げ



農道の路面維持

資源向上支払

- ・水路, 農道, ため池の軽微な補修, 植栽による景観形成や生態系保全などの農村環境保全活動等
- ・老朽化が進む水路, 農道などの長寿命化のための補修等



水路のひび割れ補修



農道の窪みの補修



植栽活動

図2

交付単価

(円/10a)

	都府県			北海道		
	①農地維持支払	②資源向上支払(共同)×1	③資源向上支払(長寿命化)×1,2,3	①農地維持支払	②資源向上支払(共同)×1	③資源向上支払(長寿命化)×1,2,3
田	3,000	2,400	4,400	2,300	1,920	3,400
畑	2,000	1,440	2,000	1,000	480	600
草地	250	240	400	130	120	400

[5年間以上実施した地区は, ②に75%単価を適用]

※1: ②, ③の資源向上支払は, ①の農地維持支払と併せて取り組むことが必要

※2: ①, ②と併せて③の長寿命化に取り組む場合は, ②に75%単価を適用

※3: ③の長寿命化において, 直営施工を行わない等の場合は, 5/6単価を適用

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課むらづくり推進係 (099-286-3108)

1 県民の農業及び農村に対する理解促進に関する施策（1, 9（7）, 12（1））

■ グリーン・ツーリズム農泊推進事業【継続】

【令和8年度予算額 2,500千円】
財源（国庫）

<対策のポイント>

農泊に取り組む地域の育成や旅行者の安心・安全な受入体制の整備、地域資源を活用したグリーン・ツーリズム、農泊等を支援します。

<政策目標>

体験型教育旅行受入生徒数の増加（令和10年度）：5,500人

農林漁業体験民宿数の増加（R10年度）：新規開業2軒/年

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

都市と農村の交流人口拡大のため地域内の多様な主体との連携を強化し、旅行者の安心・安全な受入体制の整備や地域資源を活用したグリーン・ツーリズム、農泊の取組を推進する。

2 事業主体（※負担割合）

県（国10/10）



研修会の開催

3 事業内容

- (1) 体験型教育旅行の推進 【予算額：725千円】
- (2) 安心・安全な受入体制整備 【予算額：287千円】
- (3) 農泊実践者の育成 【予算額：956千円】
- (4) インバウンド等の受入拡大 【予算額：230千円】

4 事業期間

令和6～10年度（5か年）

<事業の流れ>



農家等による体験型教育旅行の受入推進

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課むらづくり推進係（099-286-3108）

12 農村振興に関する施策（12（4））

■ 鳥獣被害対策推進事業【継続】

【令和8年度予算額 941,956千円】

財源（国庫：941,853千円，一財：103千円）

<対策のポイント>

地域関係者が一体となった市町村の被害防止計画に基づく取組を支援します。

<政策目標>

野生鳥獣による農作物被害額を令和5年度被害額以下にする。（R5年度は過去10年間で最も低い被害額：2.98億円）

※ 未来創造ビジョン体系 8 個性を生かした地域づくりと移住・交流の促進，10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 02 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

野生鳥獣による農作物被害の防止・軽減を図るため、「寄せ付けない」，「侵入を防止する」，「個体数を減らす」の3つの取組をソフト・ハード両面から総合的かつ一体的に推進する。

2 事業主体（※負担割合）

(1) 県（国10/10），(2) 市町村・地域協議会（国10/10，1/2以内）

3 事業内容

(1) 鳥獣被害対策普及啓発活動

- ア 推進会議の開催：県推進会議，地域推進会議
- イ 人材育成活動：集落研修，指導者育成研修 等
- ウ 広域捕獲活動
- エ 新技術実証・普及活動
- オ 鳥獣被害防止対策運動
- カ ジビエ利用拡大：ジビエ利活用研修会，ジビエフェアの開催，ジビエ肉質・成分調査 等

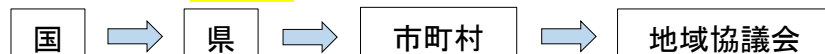
(2) 鳥獣被害防止活動支援

- ア 推進事業：実施隊の活動，捕獲機材導入の支援 等
- イ 緊急捕獲活動支援事業：捕獲活動経費の支援
- ウ 整備事業：侵入防止柵等の整備支援
- エ スマート捕獲等普及加速化事業：スマート鳥獣対策のモデル地区を整備し，横展開の支援

4 事業期間

平成25年度～

<事業の流れ> ※(2)



<事業イメージ>

〔鳥獣被害防止・軽減対策〕

【寄せ付けない】



集落研修

住民を対象とした鳥獣の生態や対策を学ぶ講義，実習

【侵入を防止する】



侵入防止柵の整備支援

自力施工の場合は資材費を定額支援 等

【個体数を減らす】



捕獲活動経費の支援

獣種毎に捕獲活動経費を定額支援

〔ジビエ利用拡大〕



PRイベント

ジビエの認知度向上と消費拡大のためのPRイベントを開催



ジビエ利活用研修会

販路開拓の取組や衛生的な解体技術等を学ぶ研修会



ジビエレシピ開発

家庭で手軽に作れるジビエ料理レシピ開発

〔お問い合わせ先〕

鹿児島県農政部農村振興課中山間・鳥獣害対策係（099-286-3114）

1 2 農村振興に関する施策（1 2（2））

■ 中山間地域等直接支払事業【継続】

【令和8年度予算額 597,345千円】
財源（国庫：396,487千円，一財：200,858千円）

<対策のポイント>

農業生産条件の不利性を補正することにより，将来に向けて農業生産活動を維持するための活動を支援します。

<政策目標>

中山間地域等直接支払の実施集落割合：17%（実施集落数／農地を有する集落数）

- ※ 未来創造ビジョン体系 1 0 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 0 2 「稼ぐ力」の向上（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性，背景）

中山間地域等における荒廃農地の発生を防止し，農業・農村の多面的機能を確保するため，集落協定に基づき農業者等が行う農業生産活動等を支援する。

2 事業主体（※負担割合）

- (1) 市町村（国1/2，県1/4，市町村1/4 等）
- (2) 県，市町村（国1/2）

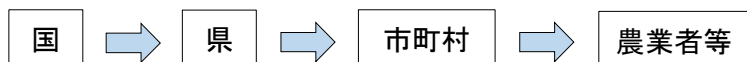
3 事業内容

- (1) 中山間地域等直接支払交付金
 - ・対象地域：地域振興8法と棚田法等指定地域及び知事が定める特認地域
 - ・対象農用地：急傾斜等生産条件が不利な一団の農用地
 - ・対象者：集落協定等に基づき5年以上継続して耕作を行う農業者等
 - ・交付単価：地目，傾斜度により定額（加算措置あり）
- (2) 中山間地域等直接支払推進交付金
制度の適正かつ円滑な実施に向けた推進体制の強化を支援

4 事業期間

令和7年度～11年度（第6期対策）

<事業の流れ>



<事業イメージ>

【交付単価】

地目	区分	交付単価 (円/10a)	田：急傾斜 (傾斜：1/20)	畑：急傾斜 (傾斜：15度)
田	急傾斜(1/20～)	21,000		
	緩傾斜(1/100～)	8,000		
畑	急傾斜(15度～)	11,500		
	緩傾斜(8度～)	3,500		

【加算措置】

加算項目（取組目標の設定・達成が必要）	10a当たり単価
棚田地域振興活動加算	
棚田地域振興法に基づく認定棚田地域振興活動計画の対象棚田等（田1/20以上、畑15度以上）の保全と地域の振興を支援 （超急傾斜農地安全管理加算、スマート農業加算との重複は不可）	10,000円 (田・畑)
棚田地域振興活動加算を受ける農地のうち超急傾斜農地（田1/10以上、畑20度以上） （超急傾斜農地安全管理加算、スマート農業加算との重複は不可）	14,000円 (田・畑)
超急傾斜農地安全管理加算	6,000円 (田・畑)
超急傾斜農地（田1/10以上、畑20度以上）の保全や有効活用を支援	
ネットワーク化加算 【上限額：100万円/年】	10,000円(最大 ^{※3}) (地目にかかわらず)
ネットワーク化や統合等による人材確保や活動の継続に向けた取組を支援 ^{※2}	
スマート農業加算 【上限額：200万円/年】	5,000円 (地目にかかわらず)
スマート農業による作業の省力化、効率化に向けた取組を支援	

※2 第5期対策（R2～R6）で実施した集落機能強化加算の経過措置を別途設定

※3 協定面積の規模に応じて段階的に適用単価が変動

(～5ha部分) 10,000円/10a、(5ha～10ha部分) 4,000円/10a、(10～40ha部分) 1,000円/10a

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課中山間・鳥獣害対策係（099-286-3114）

12 農村振興に関する施策（12（1））

■ 中山間地農業ルネッサンス事業 （中山間地農業ルネッサンス推進事業）

【継続】

【令和8年度予算額 30,569千円】
財源（国庫）

<対策のポイント>

中山間地域の特性を活かした活動を支援するとともに、優先枠等を講じた各種支援事業の活用を推進します。

<政策目標>

荒廃農地率：9.9%（荒廃農地の拡大防止）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 02 「稼ぐ力」の向上（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

中山間地の特色を活かした農業・農村の振興を図るため、県の地域別農業振興計画や市町村の将来ビジョンに基づく地域の創意工夫あふれる取組を支援する。

2 事業主体（※負担割合）

県，市町村（国10/10）

3 事業内容

- (1) 地域別農業振興計画の支援
- (2) 若手ハンター育成に向けた体験型講習会の実施
- (3) 元気な地域創出モデル支援

ア 中山間地の耕作不利地の再活用に向けた実証事業

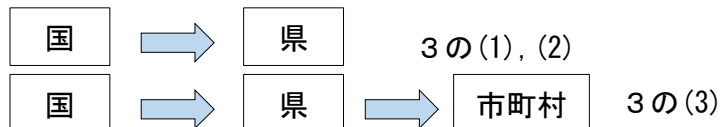
イ 官民連携による特産品加工場の収益力向上，販売力強化

ウ 6次産業化及びブランド化の推進と海外市場への輸出拡大に取り組み，担い手確保及び所得向上を図る

4 事業期間

平成29年度～

<事業の流れ>



<事業イメージ>

【地域別農業振興計画に基づく活動への支援】



【主な支援事業（優先枠等）】

- ・強い農業づくり総合支援交付金のうち産地基幹施設等支援タイプ、新基本計画実装・農業構造転換支援事業
- ・農業農村整備関係事業
- ・集落営農連携促進等事業
- ・持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進
- ・みどりの食料システム戦略推進交付金のうちバイオマスの地産地消（整備事業）
- ・農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策等）
- ・多面的機能支払交付金
- ・環境保全型農業直接支払交付金
- ・鳥獣被害防止総合対策交付金のうち整備事業
- ・里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課中山間・鳥獣害対策係（099-286-3114）

7 農地の有効利用及び確保に関する施策（7（1），7（4））

■ 農地集積推進事業【継続】 （農地中間管理機構事業）

【令和8年度予算額 419,606千円】
財源（国庫：392,696千円，一財：26,910千円）

<対策のポイント>

農地中間管理機構（農地バンク）を活用して，長期に渡り安心して農地を借りられる環境を整備します。

<政策目標>

担い手への農地集積率（令和17年度）：70%（農業経営基盤強化の促進に関する基本方針における令和17年度目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性，背景）

農地中間管理事業を活用した担い手への農地の集積・集約化を加速化するため，農地バンクの事業活動を支援する。

2 事業主体（※負担割合）

- (1) 県農地中間管理機構（国 7/10，定額，県 3/10）
- (2) 県農地中間管理機構（国 定額）
- (3) 県農地中間管理機構，市町村（国 定額）
- (4) 県（国 定額）

3 事業内容

(1) 借受農地管理等事業

機構が借り受けた農地の賃料及び保全管理に要する経費等を支援

(2) 機構事務

農地中間管理事業の事業運営や業務委託等に要する経費を支援

(3) 遊休農地解消対策事業

市町村や農地バンクによる簡易な整備により，遊休農地を解消し，担い手に農地を集積・集約化する取組を支援

(4) 県事務（県の事業推進費）

4 事業期間

平成26年度～

<事業の流れ>

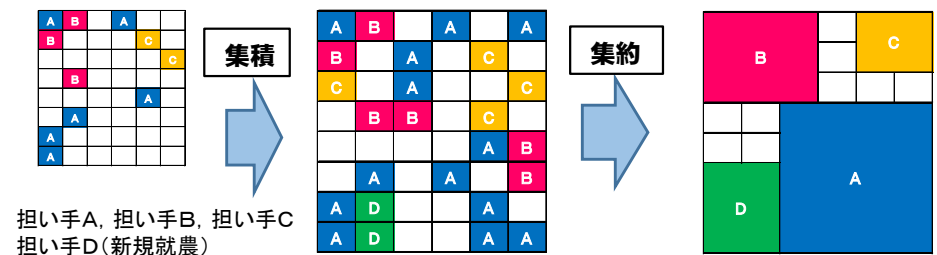


<事業イメージ>

【農地中間管理事業のイメージ】



【担い手への農地の集積・集約化のイメージ】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課農地利用推進係（099-286-3109）

7 農地の有効利用及び確保に関する施策（7（1））

■ 農地集積推進事業【継続】

（機構集積協力金交付事業）

【令和8年度予算額 280,660千円】
財源（特定）

<対策のポイント>

農地中間管理機構（農地バンク）を活用して、担い手への農地の集約化に取り組む地域を支援します。

<政策目標>

担い手への農地集積率（令和17年度）：70%（農業経営基盤強化の促進に関する基本方針における令和17年度目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

農地バンクへ農地を貸し付け、集約化に取り組む地域を支援することにより、担い手への農地の集約化を進める。

2 事業主体（※負担割合）

(1),(2) 市町村（国 定額）

(3) 県, 市町村（国 定額）

3 事業内容

(1) 集約化加速タイプ

- ・大規模な農地の集約化への取組を支援
- ・受け手不在農地を活用した誘致団地創出への取組を支援

(2) 地域集約化実現タイプ

- ・目標地区に基づく集約化を実現するため、地域のまとまった農地を農地バンクへ貸付ける地域を支援

(3) 県及び市町村推進事業

4 事業期間 平成26年度～

<事業の流れ・補助率等>



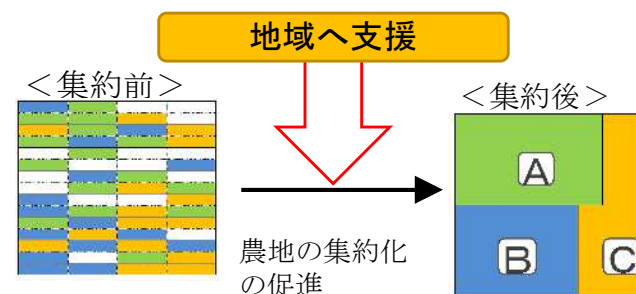
<事業イメージ>

○集約化加速タイプ（≒旧集約化奨励金）

- ・農地バンクから転貸された団地面積に応じて地域へ支援金を交付【1～3万円/10a】
- ・大規模な農地の集約化や受け手不在農地を活用した誘致団地の創出に取り組む地域へ支援金を交付【5万円/10a】

○地域集約化実現タイプ（≒旧地域集積協力金）

地域のまとまった農地を農地バンクへ貸付ける地域へ支援金を交付【2～2.6万円】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課農地利用推進係（099-286-3109）

7 農地の有効利用及び確保に関する施策（7（4））

■ 農地集積推進事業【継続】 （最適土地利用推進事業）

【令和8年度予算額 1,174千円】
財源（国庫）

<対策のポイント>

荒廃農地の解消や低コスト土地利用の支援などにより農地の有効活用を推進します。

- ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

地域ぐるみの話し合いにより、営農を続け守るべき農地、粗放的利用を行う農地等を区分し、実証的な取組を行いつつ、土地利用構想を作成し、その実現に必要な農用地保全のための活動、基盤整備や周辺環境整備の取組を支援する。

2 事業主体（※負担割合）

市町村（国 定額, 5.5/10等）

3 事業内容

(1) 最適土地利用総合事業

土地利用構想を作成し、その実現に必要な農用地保全のための活動、基盤整備や施設整備費を支援

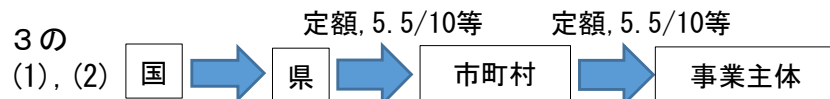
(2) 荒廃農地再生支援事業

話し合いなどにより耕作の再開を目指す荒廃農地等について、再生作業や簡易な基盤整備等を支援

4 事業期間

令和3年度～

<事業の流れ・補助率等>



<事業イメージ>

1. 最適土地利用総合事業

Step 1 地域ぐるみの話し合いにより、営農を続けて守るべき農地、粗放的な利用を行う農地等を区分し、実証的な取組を実施



Step 2 土地利用構想を策定し、農用地保全のための条件整備や各種取組を選択・実施



2. 荒廃農地再生支援事業

農業振興地域内の荒廃農地に係る、荒廃農地の再生作業、支障物撤去、基盤整備、土壌改良を支援



中山間地域等の実情に即した土地利用構想を実現

荒廃農地を解消し、農山漁村地域を活性化

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課農地利用推進係（099-286-3109）

1.1 農業災害防止等に関する施策（5（2），11）

■ 農業制度資金利子補給補助事業【継続】 （農業近代化資金利子補給事業）

【令和8年度予算額 160,050千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

農業近代化資金の融資を農業者が低利で受けられるよう、融資機関に対し利子補給を行う。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

農協等の民間金融機関に利子補給を行うことで、意欲と能力を持った農業者等の経営展開に必要な資金の円滑な融通を図り、農業経営の展開に繋げる。

2 事業主体

県

3 事業内容

農業近代化資金を融資した融資機関への利子補給

4 事業期間

昭和36年度～（継続）

<事業の流れ>

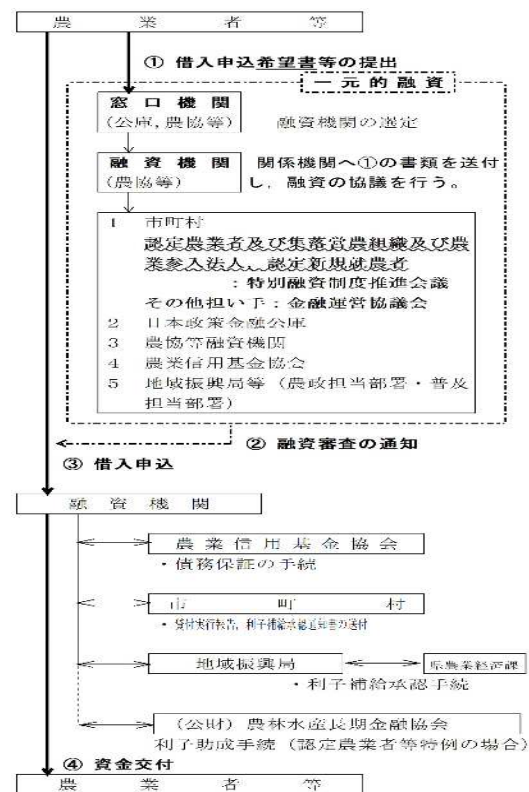


(※) 実際には融資機関が代理受領するため、直接借受者に利子助成金が支払われるものではありません。

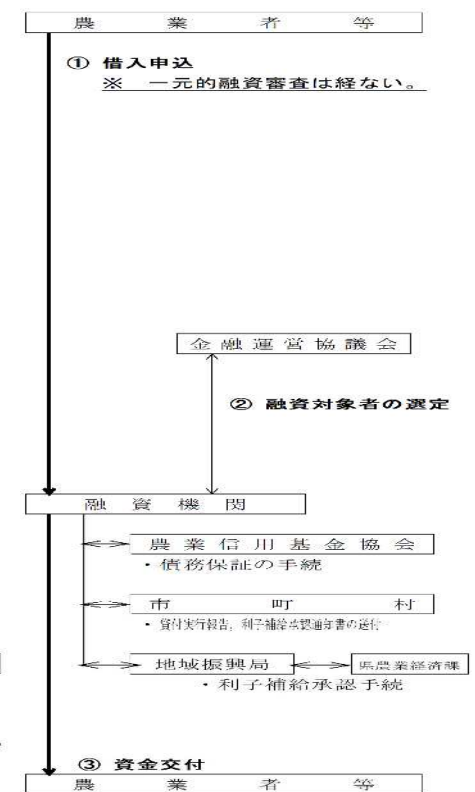
(※※) 認定農業者に対する特例（スーパーL資金並みの貸付利率）とするためのもの

<事業イメージ>

【個人施設(個人・協業)の場合】



【共同利用施設の場合】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農業経済課金融係（099-286-3131）

1 1 農業災害防止等に関する施策（5（2），11）

■ 農業制度資金利子補給補助事業【継続】 （農業経営負担軽減支援資金利子補給事業）

【令和8年度予算額 2,505千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

農業経営負担軽減支援資金の融資を農業者が低利で受けられるよう、融資機関に対し利子補給を行う。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

農協等の民間金融機関に利子補給を行うことで、農業経営の改善を積極的に推進しようとする農業者に対して、経済環境の変化等によって償還が困難となっている既往債務の償還負担の軽減に必要な資金の融通を図る。

2 事業主体

県

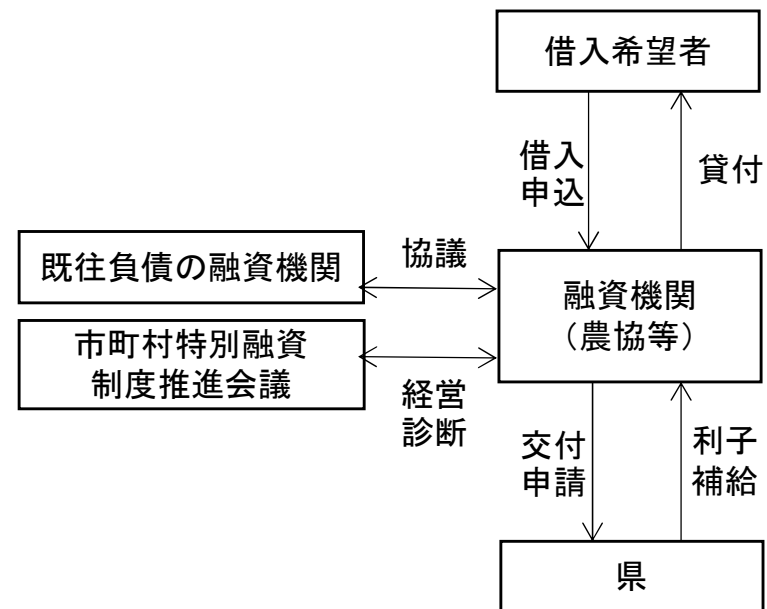
3 事業内容

農業経営負担軽減支援資金を融資した金融機関への利子補給

4 事業期間

平成13年度～（継続）

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農業経済課金融係（099-286-3131）

1.1 農業災害防止等に関する施策 (11)

■ 収入保険加入促進緊急支援事業【新規】

【令和8年度予算額 161,400千円】
財源 (国庫)

<対策のポイント>

農業経営収入保険の保険料の一部を助成し、収入保険への加入を促進する。

<政策目標>

農業経営収入保険への加入を促進し、農業者の経営安定を図る。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上

※ マニフェスト項目 01 原油価格・物価高騰への対応 02 「稼ぐ力の向上」(農林水産業の「稼ぐ力」の向上)

<事業の内容>

1 目的 (必要性, 背景)

様々なリスクによる収入減少を補償する農業経営収入保険の保険料の一部を助成し、収入保険への加入を促進することにより、物価高騰等の影響を受ける農業者の経営安定を図る。

2 事業主体 (※負担割合)

鹿児島県農業共済組合 (全額国庫)

3 事業内容

農業経営収入保険の加入にかかる保険料の補助

<補助率, 補助上限額>

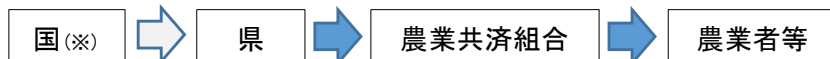
新規加入者: 保険料の2分の1以内 (上限9万円)

継続加入者: 保険料の3分の1以内 (上限6万円)

4 事業期間

令和8年度

<事業の流れ>



※ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当

<事業イメージ>

<事業紹介チラシ>

収入保険加入促進緊急支援事業

新規でご加入の方
加入者負担保険料の1/2以内を補助します (上限9万円)

継続でご加入の方
加入者負担保険料の1/3以内を補助します (上限6万円)

例えば (新規加入の場合)

基準収入1,000万円の農業者が
①「保険方式のみ90%」で加入した場合…
掛捨ての保険料は23.0万円となるので、
最大で9.0万円補助を受けられます。

②「保険方式80%」と「積立方式10%」で加入した場合…
掛捨ての保険料は10.8万円となるので、
最大で5.4万円補助を受けられます。

加入申請はお早めに
個人の方は12月まで、法人の方は事業年度の末月までに加入申し込みをお願いします。

お問い合わせ・ご相談は

NOSA I かごしま (鹿児島県農業共済組合)

本部 鹿児島市中央区中津島
TEL 099-286-8100 FAX 099-286-8100
○有明支所 099-69-3100 ○川内支所 099-49-9180
○川内支所 099-21-8111 ○川内支所 099-27-2776
○川内支所 099-59-3211 ○川内支所 099-62-6012
○川内支所 099-479-3188 ○川内支所 2897-96-2389

鹿児島県農業共済組合
鹿児島県
https://www.nosa1.jp/

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農業経済課農業共済係 (099-286-3134)

5 担い手の確保及び育成に関する施策（5(3)）

■ キラリ輝く☆女性農業者応援事業【継続】

【令和8年度予算額 4,484千円】

財源（国庫：2,873千円、一財：1,611千円）

<対策のポイント>

女性の農業経営や地域農業への積極的な参画を促進するため、研修会等を通じたリーダー育成や、女性農業者の組織的な活動支援の取組を行う。

<政策目標>

令和10年度末における女性農業経営士認定者数:560人（鹿児島県男女共同参画基本計画における令和9年度目標550名）

※ 未来創造ビジョン体系 13 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力」の向上 <農林水産業の「稼ぐ力」の向上>

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

女性が持てる力を十分に発揮し、農業経営や地域の農業組織等で活躍することは、農業経営の発展、地域の農業振興に大きく資するものであることから、女性農業者の資質向上を図るとともに、地域で活躍できる環境づくりに取り組む。

2 事業主体

県、女性農業者グループ等

3 事業内容

(1) 女性農業者の育成支援【予算額：2,959千円】

地域活性化リーダー育成セミナー
女性農業経営士養成研修 等

(2) 農村女性組織の活動支援【予算額：1,525千円】

女性農業者グループ地域発展活動支援事業
農村女性海外等研修事業
農林漁業連携組織の活動支援
農山漁村女性活動功労者表彰の実施 等

4 事業期間

令和8～10年度（3か年）

<事業の流れ>

県



女性農業者等

<事業イメージ>

女性農業者の育成支援



スキルアップ講座



女性農業経営士養成



女性農業経営士認定

農村女性組織の活動支援



地域発展活動



海外等研修事業

女性組織団体の連携

農業

ネットワーク
づくり

林業

農委等

農林漁業連携研修会

女性農業者の活躍拡大、そして農業の魅力を次世代に伝える！



地域の核となるキラリ輝く☆女性農業者の育成

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 普及企画係（099-286-3148）

5 担い手の確保及び育成に関する施策（5(1), (2), (4), (5)）

【令和8年度予算額 44,334千円】

財源（国庫：43,517千円，一財：817千円）

■ 担い手育成推進事業【継続】

<対策のポイント>

認定農業者や集落営農組織など担い手の確保・育成を図るため、農業用機械・施設の導入などを支援する。

<政策目標>

認定農業者，集落営農等の担い手数：8,500経営体（かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針に掲げる令和17年度目標値）

- ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力」の向上（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1 目的（必要性、背景）

認定農業者や集落営農など担い手の所得向上を図る。

2 事業主体 県，市町村，集落営農組織，農業者等

3 事業内容

(1) 農地利用効率化等支援事業 【予算額：28,676千円】

地域計画のうち目標地図に位置付けられた者が，経営改善等に
必要な農業用機械・施設を導入する取組を支援

(2) 集落営農活性化プロジェクト促進事業 【予算額：14,965千円】

集落のビジョンづくりや，その実現に必要な人材の確保や共同
利用機械等を導入する取組を支援

(3) 担い手農家台帳管理システム保守管理事業 【予算額：198千円】

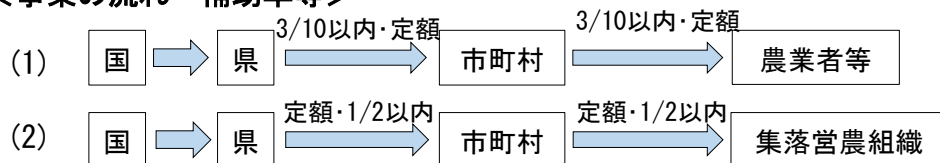
担い手の支援状況等を管理するシステムの保守管理（委託）

(4) 担い手農家台帳管理システム更新事業 【予算額：495千円】

担い手の支援状況等を管理するシステムの更新（委託）

4 事業期間 令和5年度～

<事業の流れ・補助率等>



【農地利用効率化等支援事業】



経営改善に必要な機械の導入



新技術を活用した機械の導入

【集落営農活性化プロジェクト促進事業】



人材の確保



共同利用機械の導入



高収益作物の試験栽培

担い手の確保・育成

【お問い合わせ先】

- (1), (2), (4) 鹿児島県農政部 経営技術課 経営体育成係
(099-286-3152)
- (3) 鹿児島県農政部 経営技術課 普及企画係
(099-286-3148)

6 農業経営の支援を行う者の確保に関する施策（6(1)）

■ 農業人材確保対策推進事業【継続】

【令和8年度予算額 3,899千円】
財源（一財：3,899千円）

<対策のポイント>

農業分野における労働力の安定的な確保を図るため、地域における労働力確保に向けた仕組みづくりや、「鹿児島県農業労働力支援センター」を設置・運営し、農業法人等からの相談対応等を行う。

<政策目標>

プラットフォームに掲載する先進的な労働力確保事例の収集件数：50件（令和10年度）

- ※ 未来創造ビジョン体系 13 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出
- ※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力」の向上（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

農業分野における労働力の安定的な確保に向けた取組を推進する。

2 事業主体 県、県農業労働力支援センター

3 事業内容

- (1) 労働力確保対策の検討・推進 【予算額：100千円】
 - ・ 県労働力関係部署・機関等との連絡会議の開催
 - ・ 農業労働力担当者会の開催
 - ・ 地域における労働力確保の仕組みづくり（検討会の開催等）
- (2) 県農業労働力支援センターの運営【予算額：3,799千円】
 - ・ 外国人材や障害者なども含む多様な労働力確保に関する相談対応
 - ・ 多様な労働力確保に関する情報収集の強化及び提供
 - ・ 求人・求職者のマッチングに向けた支援（求人支援に係る官民連携プラットフォームの設置・運営）
 - ・ 新たな求人手法等の情報収集及び提供等

4 事業期間

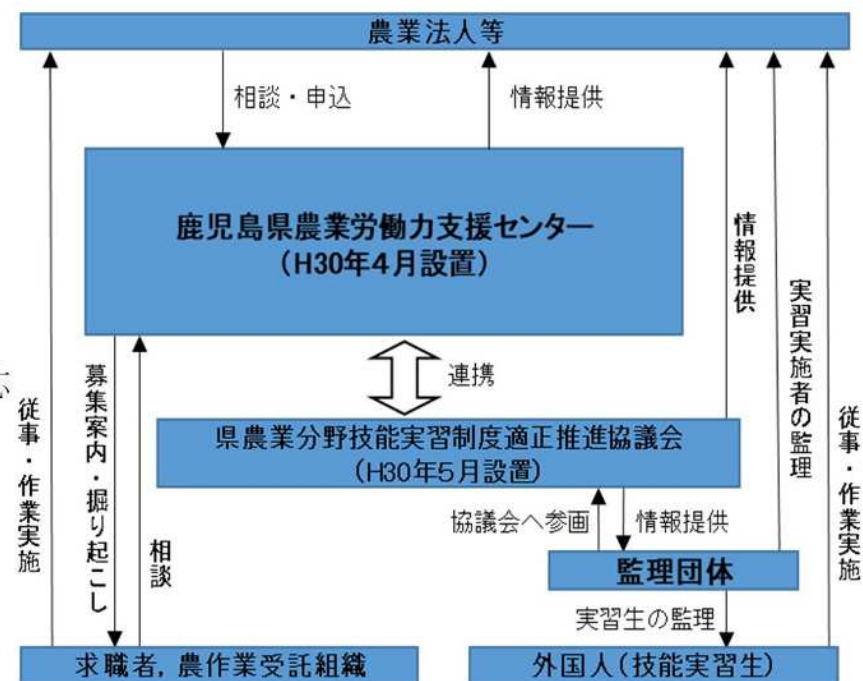
令和6～8年度（3か年）

<事業の流れ・補助率等>



<事業イメージ>

【農業労働力確保に係る支援体制】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 経営体育成係（099-286-3152）

6 農業経営の支援を行う者の確保に関する施策（6(1), (2)）

■ 農業分野外国人材確保対策推進事業【継続】

【令和8年度予算額 3,048千円】

財源（一財：3,048千円）

<対策のポイント>

農業分野における外国人材の安定的な確保を図るため、外国人技能実習制度の普及・啓発や農作業請負方式技能実習の活用を推進するとともに、特定技能の活用促進に向けた取組を支援する。

<政策目標>

本県における農業特定技能協議会会員数：603（令和10年度）

- ※ 未来創造ビジョン体系 13 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出
- ※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力」の向上（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

農業分野における外国人材の安定的な確保，受入・定着に向けた取組を推進する。

2 事業主体

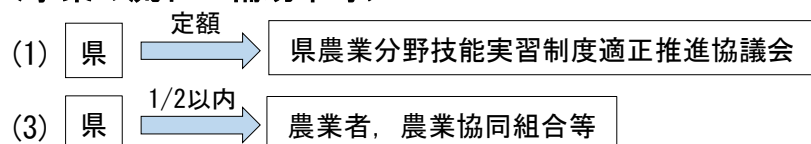
県，県農業分野技能実習制度適正推進協議会，農業法人等

3 事業内容

- (1) 県農業分野技能実習制度適正推進協議会の運営【予算額：295千円】
 - ・ 研修会や意見交換会の開催等
- (2) 農業技能実習事業協議会鹿児島県支部の運営【予算額：353千円】
 - ・ 農作業請負方式技能実習制度のガイドラインに基づく計画の確認，現地調査等
- (3) 特定技能の活用推進【予算額：2,400千円】
 - ・ 新たに特定技能を派遣で受入れる際に係る経費（外国人材の移動費，住宅の確保・修繕等）の支援

4 事業期間 令和7～9年度（3か年）

<事業の流れ・補助率等>



<事業イメージ>

【県農業分野技能実習制度適正推進協議会】

○構成機関等
監理団体，農業団体，県

○主な内容
・ 育成就労制度に対応した協議会のあり方検討
・ 育成就労制度に関する研修会の開催等



検討会の開催



研修会の開催

【農業技能実習事業協議会鹿児島県支部】

○構成機関等
県，九州農政局，農業団体

○主な内容
・ 農作業請負方式技能実習に係る計画等の確認
・ 技能実習の実施状況の現地確認 等



実習状況の現地確認

【特定技能の活用推進】

○取り組める主な内容
・ 受入農家が負担する派遣人材の移動費，住宅の確保・修繕に係る経費等



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 経営体育成係（099-286-3152）

1 2 農村振興に関する施策（1 2 (3)）

■ 農福連携推進事業【継続】

【令和8年度予算額 4,337千円】

財源（国庫：4,054千円，一財：283千円）

<対策のポイント>

農福連携を推進するため、農福連携技術支援者の育成と活用を図るとともに、地域における連携体制の整備等に向けた取組を支援する。

<政策目標>

農福連携取組主体数（農業経営体数）令和11年度：20経営体増 ※令和6年度：50経営体

※ 未来創造ビジョン体系 13 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力」の向上（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

障害者等の農業への参画を促進し、農業分野における農福連携の取組を推進する。

2 事業主体 県，農業者等

3 事業内容

(1) 農福連携を实践・支援する人材の育成 【予算額：3,815千円】

- ・ 農福連携技術支援者育成研修の開催
- ・ 農福連携技術支援者の育成支援（離島からの研修参加者に対する旅費の一部助成）
- ・ 農福連携技術支援者のスキルアップ研修
- ・ 農業者と障害者就労施設等とのマッチング後の取組定着支援

(2) 地域における連携体制の整備 【予算額：106千円】

- ・ 農福連携情報交換会の開催

(3) 農福連携の理解促進 【予算額：416千円】

- ・ 農福連携推進マニュアルの作成

4 事業期間

令和8～10年度（3か年）

<事業の流れ・補助率等>



<事業イメージ>

人材育成



農福連携技術支援者育成研修

農福連携技術支援者育成研修の開催（県主催）

↓ 研修修了者を農林水産省が認定
農福連携技術支援者の育成

※農福連携技術支援者

農業者，障害者本人，障害者就労施設の職業指導員等に対し，農福連携を現場で実践する手法を具体的にアドバイスする人材（農林水産省認定）

地域連携



地域情報交換会の開催

理解促進



農福連携推進マニュアル

農福連携の推進

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 経営体育成係（099-286-3152）

5 担い手の確保及び育成に関する施策（5(1), (2), (4), (5)）

■ かごしまの農業経営・就農支援事業【継続】

【令和8年度予算額 158,229千円】

財源（国庫：138,836千円，特定：3,280千円，
一財：16,113千円）

<対策のポイント>

担い手の確保・育成を図るため、市町村等と連携した就農支援の体制づくりや研修施設の整備など就農促進に向けた取組を推進するとともに、就農・就業希望者への相談対応や、第三者への経営継承などの就農支援のほか、農業経営の法人化や経営改革に向けた取組など、経営発展段階に応じた課題解決を支援する。

<政策目標>

認定農業者，認定新規就農者，集落営農等の担い手数：8,500経営体
（かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針に掲げる令和17年度目標値）

- ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力」の向上（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性，背景）

「かごしま農業経営・就農支援センター」を中心とした支援体制を整備し、担い手の確保・育成を図る。

2 事業主体 県，市町村，民間団体等

3 事業内容

(1) 就農支援事業 【予算額：141,967千円】

市町村等と連携した就農支援の体制づくりや、研修施設の整備など就農促進に向けた取組を推進するとともに、就農・就業希望者への相談対応や第三者への経営継承など就農支援を行う。

(2) 農業経営発展支援事業 【予算額：12,039千円】

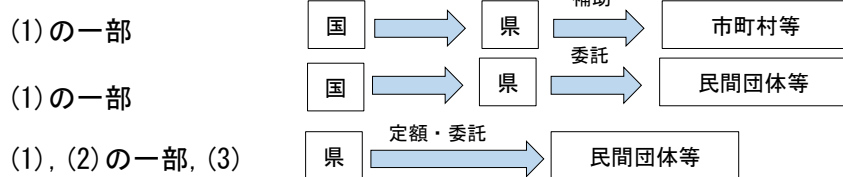
生産技術や経営管理能力の向上支援，農業経営の法人化など経営発展段階に応じた課題解決を支援する。

(3) 農業経営イノベーション事業 【予算額：4,223千円】

経営革新のための取組を支援し，農業経営の発展と地域農業の維持・発展を両立する企業的農業法人を育成する。

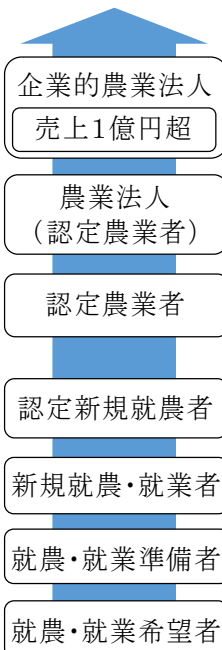
4 事業期間 令和5～9年度（5か年）

<事業の流れ・補助率等>



<事業イメージ>

「かごしま農業経営・就農支援センター」を中心とした発展段階に応じた支援



就農・就業相談会の開催



現地就農トレーナーによる助言・指導



専門家派遣による課題解決支援



経営革新ビジネスプランの作成・発表

【お問い合わせ先】

- (1) 鹿児島県農政部 経営技術課 就農対策係 (099-286-3160)
- (2), (3) 鹿児島県農政部 経営技術課 経営体育成係 (099-286-3152)

5 担い手確保及び育成に関する施策（5(1)）

■ 農業次世代人材投資事業【継続】

【令和8年度予算額 589,843千円】
財源（国庫）

<対策のポイント>

新規就農者を確保・育成するため、次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農前の研修段階及び就農直後の経営確立に資する資金を交付する。

<政策目標>

認定農業者、認定新規就農者、集落営農等の担い手数：8,500経営体

（かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針に掲げる令和17年度目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」）

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

農業就業人口が減少する中、本県の基幹産業である農業を持続的に発展させるため、新規就農者の確保・育成を図る。

2 事業主体 県、市町村

3 事業内容

(1) 農業次世代人材投資事業 【予算額：24,517千円】

令和3年度までに新規採択された者が対象

(2) 新規就農者育成総合対策事業 【予算額：565,326千円】

令和4年度以降の新規採択者が対象

<準備型（就農準備資金）>（年間最大165万円/人）

県立農業大学校・農業公社等の研修機関で研修を受ける者に対して資金を交付

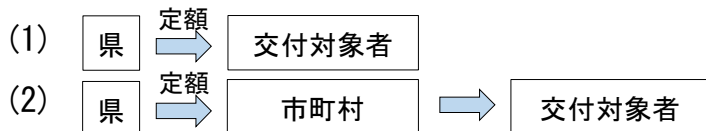
<経営開始型（経営開始資金）>（年間最大165万円/人）

市町村の地域計画に位置付けされている（見込みを含む）原則50歳未満の独立・自営就農者に対して資金を交付

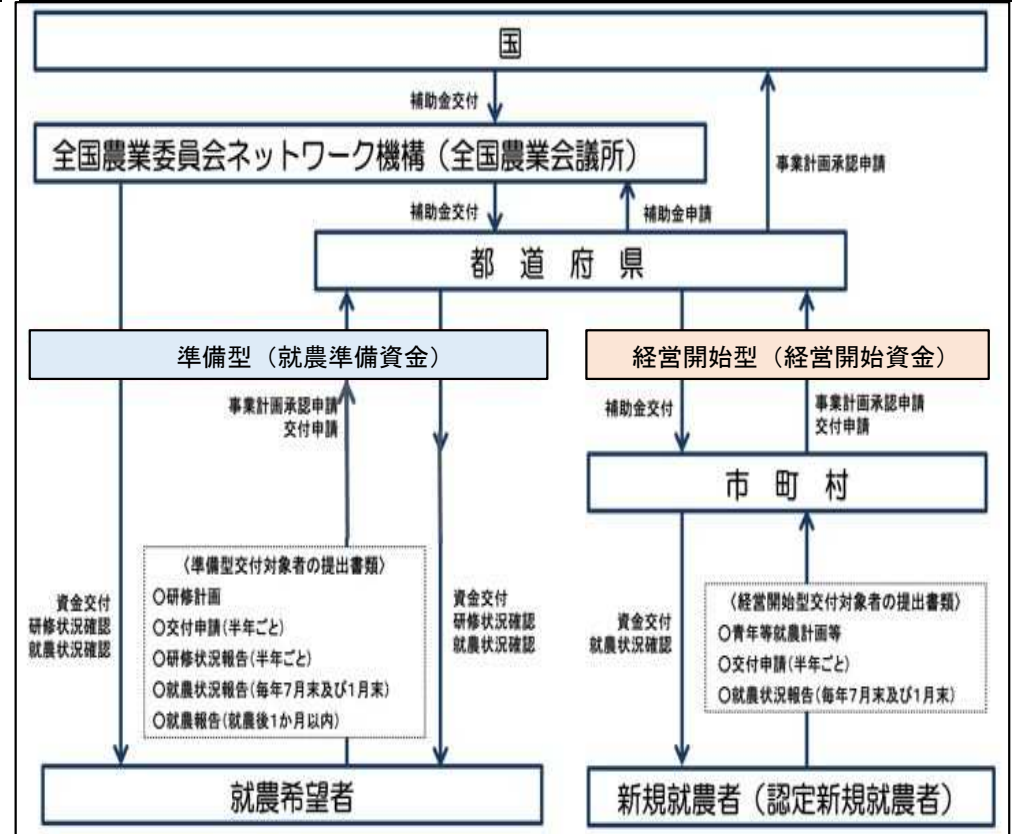
4 事業期間

平成24年度～

<事業の流れ・補助率等>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 就農対策係（099-286-3160）

<対策のポイント>

セグロウリミバエやアリモドキゾウムシなどの特殊病害虫のまん延防止を図るため、未発生地域における侵入警戒調査を行うとともに、沖永良部島以南のカンキツグリーン病などの根絶に向けた防除を実施する。

<政策目標> 特殊病害虫の発生予防及びまん延防止

- ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

セグロウリミバエやアリモドキゾウムシ等の特殊病害虫の未発生地域におけるまん延防止，発生地域における根絶を図る。

2 事業主体 県

負担割合 (1), (2), (4), (5) : 国10/10, (3) : 国9/10以内, 県1/10)

3 事業内容

- (1) ウリミバエ等調査事業 【予算額：345,463千円】
セグロウリミバエやアリモドキゾウムシ等特殊病害虫の未発生地域における侵入警戒調査を実施するとともに，侵入が確認された場合には，速やかに初動対応を実施
- (2) アリモドキゾウムシ防除対策事業 【予算額：236,873千円】
喜界島での防除に向け，不妊虫放飼と密度抑圧防除を実施
- (3) 特殊病害虫防除施設整備事業 【予算額：34,332千円】
セグロウリミバエ等の防除に不可欠な不妊虫生産のための施設の整備・更新を実施
- (4) カンキツグリーン病緊急対策事業 【予算額：54,755千円】
奄美群島において，発生調査や媒介虫（ミカンキジラミ）の防除を実施。発生地域では，感染樹の伐採処分を実施
- (5) プラムポックスウイルス侵入警戒調査事業 【予算額：151千円】
県内におけるプラムポックスウイルスの侵入警戒調査を実施

<事業イメージ>

【侵入警戒調査や防除対策を実施している主な病害虫】



セグロウリミバエ



アリモドキゾウムシ



ミカンキジラミ
(カンキツグリーン病の媒介虫)



カンキツグリーン病



イモゾウムシ

※ この他，ミカンコミバエ，アフリカマイマイなどの侵入警戒調査を実施

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 技術環境係 (099-286-3155)

5 担い手の確保及び育成に関する施策（5(4)）

■ 農作業事故防止対策推進事業【継続】

【令和8年度予算額 210千円】
財源（一財：210千円）

<対策のポイント>

地域ぐるみの農作業安全意識の醸成及び農作業安全対策を推進し、農作業事故防止を図る。

<政策目標>

令和2年度比で令和8年度の事故件数を半減

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的

農業の機械化や高齢化が進展する中で、農作業事故は、県内で毎年10件程度の死亡事故が発生している状況にある。安定した農業経営を継続するため、地域ぐるみの農作業安全意識の醸成及び総合的な農作業安全対策を推進する。

2 事業主体 県

3 事業内容

- (1) 事故防止の普及・啓発 【予算額：183千円】
 - ・農作業事故調査，農作業事故防止の啓発，農作業安全研修会の開催
- (2) 安全体制の推進 【予算額：27千円】
 - ・地域農作業安全体制の推進

<事業イメージ>

○ 農作業安全研修会



○ 農作業事故防止の啓発



【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 経営技術課 技術環境係 (099-286-3155)

10 生産性向上に関する施策（10(4)）

【令和8年度予算額 10,845千円】
財源（国庫：9,905千円、
一財：940千円）

■ 環境と調和した防除推進事業（うち、病虫害発生予察事業）【継続】

<対策のポイント>

巡回調査等に基づく適期・的確な発生予察情報の提供や病虫害検定等を行うとともに、難防除病虫害の防除等の開発を行う。

<政策目標>

病虫害発生予察情報の提供回数 年12回

- ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容> <事業イメージ>

1 目的（必要性、背景）

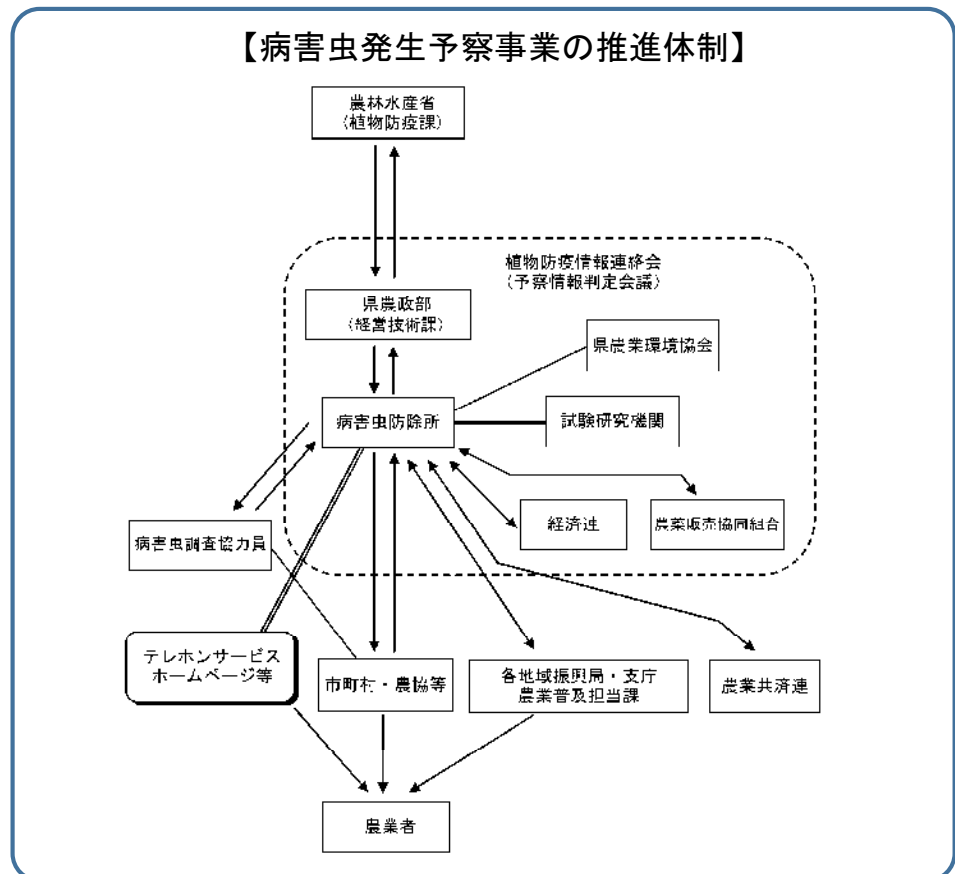
環境と調和した病虫害防除を推進するため、巡回調査等に基づく適期・的確な発生予察情報の提供や病虫害検定等を行うとともに、難防除病虫害の防除等の開発を行う。

2 事業主体 県

負担割合 (1)国：定額, (2)(3)(4)国：1/2, 県：1/2

3 事業内容 【予算額：10,845千円】

- (1) 指定病虫害の発生予察情報の提供
指定有害動植物の発生予察に係る発生予察調査を実施
- (2) 指定外病虫害の発生予察情報の提供
指定外病虫害の発生予察に係る発生予察調査を実施
- (3) 発生予察情報に係る検定の実施
指定有害動植物の発生予察に係る検定等の実施
- (4) 難防除病虫害の予察技術・防除技術の開発



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 技術環境係 (099-286-3155)

4 環境への負荷の低減に関する施策（4（1））

■ 環境保全型農業直接支払事業【継続】

【令和8年度予算額 212,937千円】
財源（国庫142,357千円，一財70,580千円）

<対策のポイント>

農業の持続的な発展と農業の有する多面的機能の発揮を図るとともに、みどりの食料システム戦略の実現に向けて、農業生産に由来する環境負荷を軽減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動を支援する。

<政策目標>

有機農業の取組面積：2,000ha（令和13年度）

- ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力」の向上（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

農業の有する多面的機能の発揮の促進を図るため、自然環境の保全に資する農業生産活動を支援する。

2 事業主体

農業者の組織する団体等
（国1／2，地方公共団体（県＋市町村）1／2）

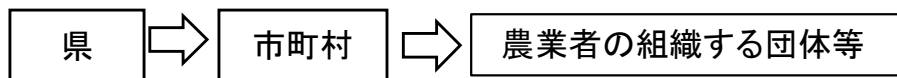
3 事業内容 【予算額 212,937千円】

農業者の組織する団体等が化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援

4 事業期間

令和7年～

<事業の流れ>



<事業イメージ>

対象取組		交付上限単価 (円/10a)
有機農業	そば等雑穀・飼料作物以外	14,000
	うち、炭素貯留効果の高い有機農業を実施する場合に限り、2千円を加算	
	そば等雑穀・飼料作物	3,000
堆肥の施用		3,600
緑肥の施用		5,000
総合防除 (うちそば等雑穀・飼料作物)		4,000 (2,000)
炭の投入		5,000
取組拡大加算		4,000



有機農業



堆肥の施用



緑肥の施用

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 生産環境係（099-286-2891）

4 環境への負荷の低減に関する施策（4（1），4（2））

■ みどりの食料システム戦略推進総合対策事業 【継続】

【令和8年度予算額 91,314千円】

財源（国庫：85,600千円，特定：5,714千円）

<対策のポイント>

みどりの食料システム戦略の実現に向けて，基本計画に沿った環境負荷低減や農業の持続的発展に資する取組を推進する。

<政策目標>

有機農業の取組面積：2,000ha（令和13年），有機JAS認証面積の割合：90%（令和13年）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性，背景）

「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて，有機農業の取組拡大や環境負荷低減技術の実証活動，地域資源の活用などの産地等の取組を支援する。

2 事業主体

県，市町村，協議会，民間団体，農業者等

3 事業内容

【予算額：91,314千円】

(1) 基本計画の推進

①みどり認定の推進（検討会，推進研修会等の開催）

②指導体制の整備（専門指導員の育成等）

(2) 有機農業の推進

①有機農業産地づくりの取組支援

②有機転換推進事業

③有機農業に取り組む農業団体への補助

④消費者への理解促進及び消費地での情報収集

⑤有機農業拡大促進への支援

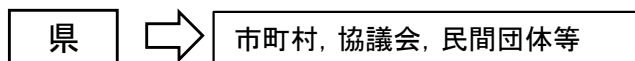
(3) 環境負荷低減に取り組む産地等への支援

①環境負荷低減技術の実証・普及

4 事業期間

令和7～9年度（3か年）

<事業の流れ>



3の(2)(3)

<事業イメージ>

<みどりの食料システム戦略>



有機農業の推進



環境負荷低減技術の実証



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 生産環境係 (099-286-2891)

5 担い手の確保及び育成に関する施策（5(1)）

■ 農業・農村研修事業【継続】

【令和8年度予算額 1,441千円】

財源（特定：550千円，一財：891千円）

<対策のポイント>

農業大学校において、就農予定者、新規就農者、農業担い手、女性農業者等が農業経営や技術を習得するため、体系的な研修を実施する。

<政策目標>

認定農業者、認定新規就農者、集落営農等の担い手数：8,500経営体

（かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針に掲げる令和17年度目標値）

- ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 02 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）
03 人材の確保・育成，移住・交流の促進

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

新規就農支援研修，農業者研修，農村生活課題解決研修を通じて，農業者等の発展段階に応じた技術習得を支援し，農業を担う人材の確保・育成を図る。

2 事業主体

県（農業大学校）

3 事業内容

(1) 新規就農支援研修 【予算額：125千円】

新規就農希望者等に対し，就農に必要な基礎的な技術や知識を習得させるための研修を実施。

(2) 農業者研修 【予算額：537千円】

農業担い手等に対し，農業経営に必要な大型特殊機械の操作技術の習得や免許取得のための研修を実施。

(3) 農村生活課題解決研修 【予算額：779千円】

農業者等に対し，農畜産加工の起業化に必要な知識や技術習得のための研修を実施。

4 事業期間

平成20年度～

<事業イメージ>



新規就農支援研修（かごしま営農塾「入門コース」夜間塾）におけるさつまいも栽培の講義



農業者研修におけるトラクタ技能実習



畜産加工基礎研修における畜肉製品の加工技術実習

〔お問い合わせ先〕

鹿児島県立農業大学校 農業研修課（099-245-1074）

5 担い手の確保及び育成に関する施策（5(1)）

■ 農大実践力アップ・教育高度化事業【継続】

【令和8年度予算額 11,899千円】

財源（国庫：5,305千円，一財：6,594千円）

<対策のポイント>

本県農業の将来を担う優れた担い手を確保・育成するため、農業大学校学生への教育カリキュラムを更に高度化するとともに、多様な担い手の確保に向けて、社会人等の就農希望者を対象にした実践的な研修を実施する。

<政策目標>

認定農業者、認定新規就農者、集落営農等の担い手数：8,500経営体

（かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針に掲げる令和17年度目標値）

- ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 02 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上
03 人材の確保・育成，移住・交流の促進

<事業の内容>

1 目的（必要性，背景）

本県農業の将来を担う優れた担い手を確保・育成するため農業大学校の教育カリキュラムを更に高度化するとともに、社会人等の就農希望者等を対象に実践的な研修を実施する。

2 事業主体

県（農業大学校）

3 事業内容

- (1) 就農意欲喚起のための研修・教育 【予算額：128千円】
- (2) 教育内容カリキュラムの高度充実化 【予算額：2,347千円】
- (3) 環境モニタリングシステムの導入 【予算額：1,102千円】
- (4) 社会人等の就農希望者への実践的研修 【予算額：3,159千円】
- (5) 中学生への農業の理解促進と将来の学生確保対策 【予算額：3,929千円】
- (6) 学生への入学意欲喚起 【予算額：1,234千円】

4 事業期間

令和6～8年度

<事業イメージ>

県農業教育高度化プラン

- 1 地域の担い手育成の課題や農業教育の目的
- 2 目標（新規就農者数など）
- 3 農業教育機関の役割分担
- 4 高度化する農業教育の内容と必要な取組 など

目標

本県農業の将来を担う優れた担い手の確保・育成を目指す（就農・就業率向上）

プランに基づき、目標達成に必要な取組を実施

農大の主な取組



高校生への出前授業



ドローン等のスマート農業



農業インターンシップ



社会人等の実践的研修

【お問い合わせ先】

鹿児島県立農業大学校 教務指導課（099-245-1071）

■スマート農業導入加速化推進事業【継続】

＜対策のポイント＞

スマート農業技術について、理解促進に向けた研修会の開催や技術開発を進めるとともに、地域の基幹作物における実証活動など実装化を進める取組を支援する。

＜政策目標＞

令和9年度までのスマート農業機器の導入件数：4,500件

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力」の向上 <農林水産業の「稼ぐ力」の向上>

＜事業の内容＞

1 目的（必要性、背景）

本県農業が抱える労働力不足や生産性向上等の課題を解決するため、県スマート農業推進方針に基づき、研修会の開催や実証活動を通じて、スマート農業の実装化を進める取組を支援する。

2 事業主体

県、協議会、農業者等

3 事業内容

(1) 農業者の理解促進 【予算額：1,835千円】

・かごしまスマートファーマー育成セミナーの開催

(2) 体制づくり 【予算額：1,464千円】

・スマート農業活用指導者育成セミナーの開催 等

(3) 実装に向けた取組展開 【予算額：20,934千円】

・地域基幹作物等スマート化モデル産地育成実証活動の支援
・スマート農業対応基盤整備地区での機械化一貫体系の実証
・県内各地における実証活動の支援

4 事業期間

令和7～9年度（3か年）

＜事業の流れ＞



(3)の一部 協議会、農業者等 (1),(2),(3)の一部は県実施

＜事業イメージ＞

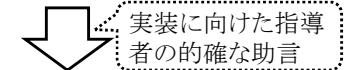
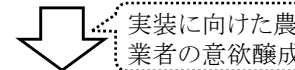
①農業者の理解促進

・スマートファーマー育成セミナーの開催



②体制づくり

・指導者の育成
・スマート農業先端技術の開発



③実装に向けた取組展開

活用する技術(例)
高早刈りターナーA1 | トラクタストックタ | 高米2枚付研削機
スマート農業モデル産地での実証
モデル産地での効果検証、機運醸成
県内各地における実証活動の支援

・モデル産地における導入効果確認と機運の醸成
・費用対効果の検証
・スマート農業の導入促進 等

経営体の規模に応じたスマート機器の導入、農業支援サービス事業者の育成・確保を推進 → スマート農業を各地域で実装

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 農産園芸課 野菜係 (099-286-3181)

9 生産振興、販売、流通等に関する施策（9（3））

■ 「稼ぐ力」を引き出す大規模畑かん営農展開推進事業 【継続】

【令和8年度予算額 1,273千円】
財源（特定）

<対策のポイント>

大規模畑地かんがい施設整備事業地区において、水利用の理解促進、畑かん営農を担う経営体等の育成、畑かんを活用した多様な産地育成などの取組により、通水後の円滑な畑かん営農の定着を図る。

<政策目標>

地域ごとの畑地かんがい営農ビジョンに位置づけた推進品目の面積拡大

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

大規模畑地かんがい施設整備事業地区においては、農政（業）普及課に「畑かん営農推進担当」を配置し、水利用の理解促進や経営体育成の推進活動を展開している。

畑かん営農ビジョンに基づき、推進品目の面積拡大を図るため、水利用技術の普及・定着が必要。

2 事業主体 県、農業者組織

3 事業内容

- (1) 水利用（畑かん営農）の理解促進
- (2) 畑かん営農を担う経営体等の育成
- (3) 畑かんを活用した多様な産地育成

4 事業期間

令和4～8年度（5か年）

<事業の流れ>



<事業イメージ>



畑かん利用技術の実証・展示



散水器具取扱研修会の開催



水利用技術・効果の波及

〔お問い合わせ先〕

鹿児島県農政部 農産園芸課 野菜係（099-286-3181）

9 生産振興，販売，流通等に関する施策（9（3））

■ かがしま園芸産地総合対策事業【継続】

【令和8年度予算額 33,259千円】
 財源（国庫：26,000千円，一財：7,259千円）

<対策のポイント>

園芸産地の振興のため，関係機関・団体との連携による各種研修会の開催や実証ほの設置などを通じた産地課題の解決の取組と併せ，集出荷貯蔵施設等の整備を進め，生産体制の強化を図る。

<政策目標>

農業産出額（野菜，花き，果樹）の5%以上の増加（現状）R2：958億円 →（目標）R7：1,005億円以上

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化，付加価値の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的

園芸産地の振興のため，関係機関・団体との連携による各種研修会の開催や実証ほの設置などを通じた産地課題の解決の取組と併せ，既存ハウスの補強等の整備を進め，生産体制の強化を図ります。

2 事業主体

3の(1)ア：県，イ：鹿児島県園芸振興協議会

3の(2)市町村，農協，生産者団体等

3 事業内容

(1)かがしま園芸産地推進事業

ア 県推進事務費

イ 鹿児島県園芸振興協議会活動費

(2)かがしま園芸産地整備事業

ア 強い農業づくり総合支援交付金

イ 畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業

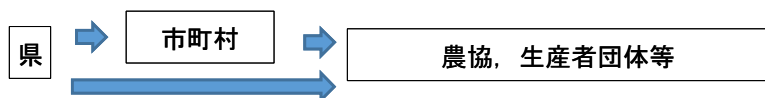
ウ 園芸産地における事業継続強化対策

4 事業期間

令和5～9年度（5か年）

<3の(2)の事業の流れ・補助率等>

○ 事業主体（市町村等）（補助率：1/2以内，定額）



<事業イメージ>

1 かがしま園芸産地推進事業

園芸振興を図るための県推進事務費や，鹿児島県園芸振興協議会が実施する園芸作物（野菜，花き，果樹）の産地育成活動に対する支援



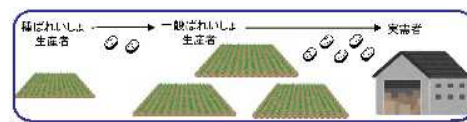
（ジャガイモシストセンチュウ（トルコギキョウ現地検討）



（中晩柑類栽培技術の検討）

2 かがしま園芸産地整備事業

【ばれいしょ生産拡大に向けた検討】



（需要に応じたばれいしょ生産の検討）

【既存ハウスの補強等の整備】



（ハウスの補強）



（防風ネットの設置）

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 農産園芸課 野菜係（099-286-3181）

9 生産振興、販売、流通等に関する施策（9（3））

■ 産地パワーアップ事業【継続】

【令和8年度予算額 499,875千円】（うち令和7年度3月補正 260,459千円）
（うち令和8年度当初 239,416千円）
財源（国庫：499,739千円，一財：136千円）

<対策のポイント>

地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲ある農業者等が高収益作物・栽培体系への転換を図るため、施設整備や農業機械及び省エネ機器の導入等を支援する。

<政策目標>

生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上削減，販売額又は所得額の10%以上増加 等

- ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化，付加価値の向上
※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 ○ 農林水産業の振興

<事業の内容>

1 目的

地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲ある農業者等が高収益作物・栽培体系への転換を図るため、施設整備や農業機械及び省エネ機器の導入等を支援します。

2 事業主体

- 3の(1)整備事業：農業者，農業者の組織する団体，食品事業者
3の(2)生産支援事業：農業者，農業者の組織する団体
3の(3)効果増進事業：県

3 事業内容

- (1)整備事業
(2)生産支援事業
(3)効果増進事業
事業推進等に必要な経費

4 事業期間

平成28年度～

<3の(2)の事業の流れ・補助率等>

○事業主体（市町村等）（補助率：1／2以内）

県 → 市町村 → 農業者，農業者の組織する団体等

<事業イメージ>

1 整備事業

農産物処理加工施設や集出荷貯蔵施設の整備に要する経費への支援



（集出荷施設の整備）

2 生産支援事業

栽培体系への転換等に必要な農業機械等導入に要する経費や、施設園芸での省エネ機器等の導入に要する経費への支援



（ヒートポンプの導入）

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 農産園芸課 野菜係（099-286-3181）

9 生産振興、販売、流通等に関する施策（9（3））

再編集約等加速化支援事業【継続】

【令和8年度予算額 4,579,860千円】（全額令和7年度3月補正）
 財源（国庫：4,556,992千円，特定：21,000千円，一財：1,868千円）

<対策のポイント>

地域計画等により明らかになった地域農業の将来像の実現に向けて、老朽化した共同利用施設の再編集約・合理化を支援する。

<政策目標>

- トン当たり製造コストの2%以上削減，労働生産性の2%以上向上，施設利用率を80%以上向上，集荷量の3%以上増加 等
- ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化，付加価値の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 ○ 農林水産業の振興

<事業の内容>

1 目的

地域計画等により明らかになった地域農業の将来像の実現に向けて、老朽化した共同利用施設の再編集約・合理化を支援します。

2 取組主体

農業者の組織する団体，消費者団体及び市場関係者，食品事業者等

3 事業内容

- (1) 共同利用施設の再編集約・合理化
 - ・農産物処理加工施設や集出荷貯蔵施設等の再編集約・合理化
- (2) 再編集約・合理化のさらなる加速化
 - ・(1)に取り組む産地のうち，県が定める基準を満たす取組に対して費用の一部を支援

4 事業期間

令和6年度～

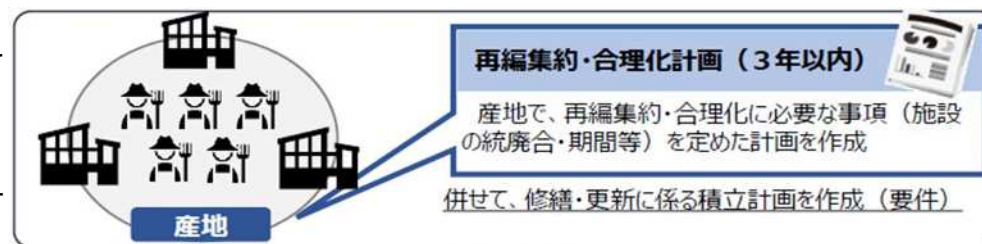
<事業の流れ・補助率等>



○補助率：

- 3 (1) 国 1 / 2 以内（さとうきびは，国 6 / 10 以内）
- 3 (2) 国 1 / 12 以内，県及び市町村 1 / 12 以内

<事業イメージ>

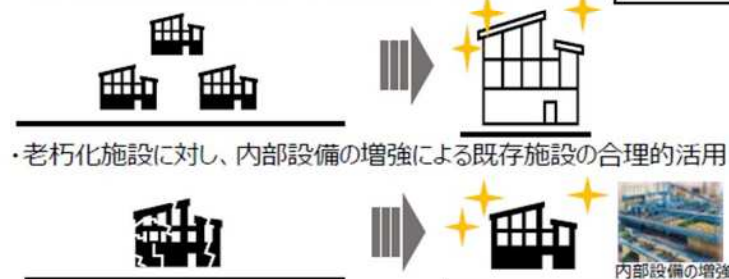


同計画に基づく取組の支援、更なる加速化

<再編集約・合理化のイメージ>

・複数の既存施設を廃止し、再編集約して新規に設置

※ 補助上限額：20億円/年×3年
 ※ 既存施設の撤去費用を含む。



農業の構造転換を実現

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 農産園芸課 野菜係（099-286-3181）

9 生産振興，販売，流通等に関する施策（9（3））

■ 茶・施設園芸燃油高騰対策緊急支援事業【継続】

【令和8年度予算額 119,000千円】
財源（国庫）

<対策のポイント>

燃料高騰により経営に影響を受けている茶工場及び施設園芸農家が，国の施設園芸等セーフティネット構築事業への加入時に負担する積立金の一部を緊急的に支援する。

<政策目標>

国の茶セーフティネット構築事業への加入割合（工場数ベース）73%（令和7事業年度）→ 75%（令和8事業年度）

国の施設園芸セーフティネット構築事業への加入割合（面積ベース）40%（令和6事業年度）→ 70%（令和8事業年度）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化，付加価値の向上

※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 ○ 農林水産業の振興

<事業の内容>

1 目的

燃料高騰により経営に影響を受けている茶工場及び施設園芸農家が，国の施設園芸等セーフティネット構築事業への加入時に負担する積立金の一部を緊急的に支援し，制度への加入を促進するとともに，農家経営への燃料高騰の影響緩和を図る。

2 事業主体

各市町茶業振興会等
鹿児島県燃料価格高騰緊急対策協議会

3 支援対象者

国の施設園芸等セーフティネット構築事業に加入する茶工場及び施設園芸農家

4 事業内容

茶工場及び施設園芸農家が負担する国の燃料高騰対策の積立に要する経費のうち，農家が積み立てる積立金単価に対し，段階的に支援する。

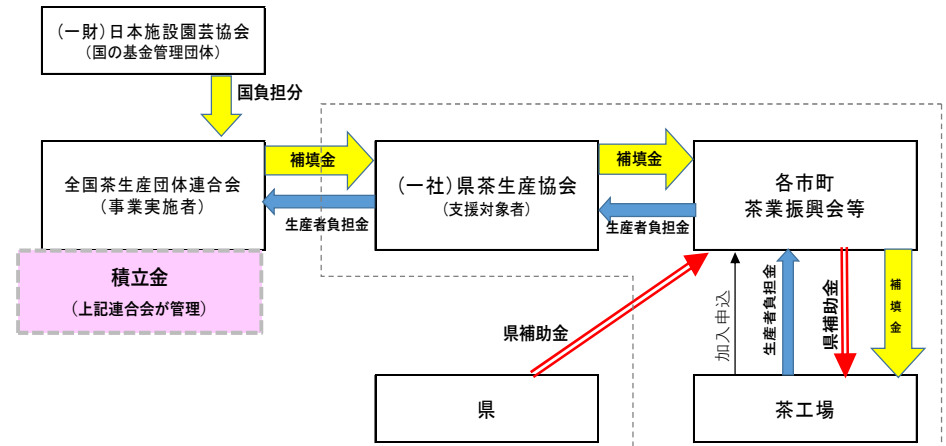
5 事業期間

令和4年度～

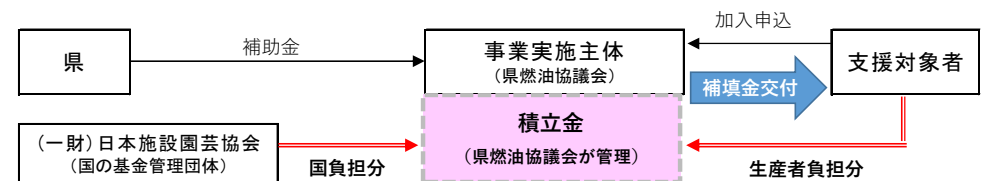
<事業イメージ>

選択肢（積立方式）	燃料	支援単価
燃料価格の115%相当までの高騰に備え積立	A重油(L)	1円
〃 130% 〃	灯油(L)※施設園芸のみ	2円
〃 150% 〃	LPガス(kg)	3円
〃 170% 〃	LNG(m ³)	3円

<事業の流れ 茶>



<事業の流れ 施設園芸>



9 生産振興, 販売, 流通等に関する施策 (9 (4))

■ 加工・業務用園芸産地確立事業【継続】

【令和8年度予算額 6,238千円】
財源(一財)

<対策のポイント>

野菜等の加工・業務用需要の拡大に対応するため, 実需者ニーズに対応した安定生産・省力化に向けた取組を支援する。

<政策目標>

加工・業務用出荷量の10%以上増加 (9年度目標)

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化, 付加価値の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」(農林水産業の「稼ぐ力」の向上)

<事業の内容>

1 目的

加工・業務用野菜等の生産拡大志向農家に対して, 生産・出荷・販売面に関する取組を支援し, 産地の持続的な発展を図る。

2 事業主体 (※負担割合)

3の(1)(2) 農業者の組織する団体, 農協等 (県1/2以内)

3の(3) 県 (県10/10)

3 事業内容

(1) 実需者ニーズに対応した栽培技術の確立

ア 生産・流通体系の構築に向けた取組

イ 作型安定技術の導入のための取組

(2) 契約取引の推進

(3) 県推進事務費

4 事業期間 令和6～8年度 (3か年)

<事業イメージ>



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農産園芸課 野菜係 (099-286-3181)

9 生産振興, 販売, 流通等に関する施策 (9 (3))

■ 農業用ハウス長寿命化対策緊急支援事業【新規】

【令和8年度予算額 68,120千円】
財源(国庫)

<対策のポイント>

農業用ハウスの建設資材の価格高騰に対応するため、既存ハウスの長寿命化の取組を支援する。

<政策目標>

施設整備等に係る農家の経営負担の軽減と生産基盤の維持

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化, 付加価値の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」(農林水産業の「稼ぐ力」の向上)

<事業の内容>

1 目的

農業用ハウスの建設資材の価格高騰に対応するため、既存ハウスの長寿命化の取組を支援し、施設整備に係る農家の経営負担の軽減と生産基盤の維持を図る。

2 事業主体(※負担割合)

農業者, 営農集団(地域計画に位置付けられた担い手, または事業実施年度内に位置づけられることが確実であると見込まれる者)(県1/3以内)

補助上限額1,700千円/10a・1経営体あたり3,400千円(税抜),
補助下限額500千円(税抜)

3 事業内容

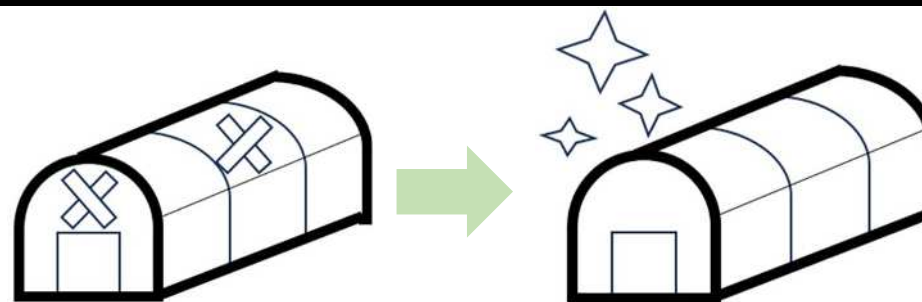
- (1) 骨組みとなるパイプ等の補修・交換・補強・移設
- (2) (1)を行った上で最低限必要な温度制御機能を果たす設備等の導入(被覆資材, 内張フィルム等)

4 事業期間 令和8年度

<事業の流れ>



<事業イメージ>



- (1) 支援対象施設
・耐用年数が過ぎた農業用ハウスであること(全品目対象, ハウス種別問わない)
 - (2) 補助対象(例)
・パイプ, 柱の交換
・ブレース, 水平梁の設置
・施工費 など
- ※ 事業実施後, 当該ハウスを8年以上使用すること。

施設整備等に係る農家の経営負担の軽減と生産基盤の維持

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農産園芸課 野菜係 (099-286-3181)

9 生産振興、販売、流通等に関する施策（9（3））

■ 気候変動に対応した園芸産地づくり事業【継続】

【令和8年度予算額 3,958千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

温暖化（高温）によって引き起こされる様々な品質低下や収量低下を防ぎ、園芸作物の安定生産を通じた農業者の所得向上に資するため、高温対策に資する資材等を活用した技術の展示ほを設置し、研修会等により技術の普及を図る。

<政策目標>

現地検討会参加者数 240人

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的

高温対策に資する資材等を活用した技術の展示ほを設置し、研修会等により技術の普及を図り、園芸作物の安定生産を通じた農業者の所得向上に資する。

2 事業主体

3の(1)(2) 鹿児島園芸振興協議会

3の(2) 県

3 事業内容

(1) 展示ほの設置（野菜、花き、果樹）

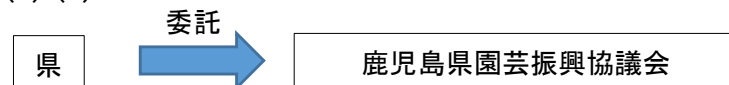
(2) 研修会の開催（現地検討会、県域技術研修会）

4 事業期間

令和7～9年度（3か年）

<事業の流れ>

3の(1)(2)



<事業イメージ>

1 展示ほの設置

高温等の影響を回避・軽減する対策技術などの展示ほの設置

<対策技術の例>



白黒Wマルチ



遮光資材の被覆



植調剤による着色促進

2 研修会の開催

現地検討会及び県域技術研修会の開催による生産現場への技術の普及



現地検討会（イメージ）

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課花き果樹係（099-286-3183）

9 生産振興, 販売, 流通等に関する施策 (9-3)

生産性の高い水田農業確立推進事業【継続】

【令和8年度当初予算額 9,538千円】
財源(一財)

<対策のポイント>

需要に応じた米生産を推進するため, 需給調整の取組のほか, 気候変動に対応した米づくりや食料自給力向上や水田フル活用に向けた表作での加工用米や飼料用米, 裏作での飼料作物等の導入・定着に向けた取組を推進。

<政策目標>

稲作農家の経営安定と本県の特徴を生かした生産性の高い水田農業の確立を図る。

※ ビジョン体系 X 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興

<事業の内容>

1 目的(必要性, 背景)

稲作農家の経営安定と生産性の高い水田農業確立を図るため, 需要に応じた米生産を推進するとともに, 気候変動に対応した米づくりや, 加工用米や飼料用米等の作付拡大に向けた取組を推進する。

2 事業主体及び事業内容

(1) 実効性のある需給調整の推進

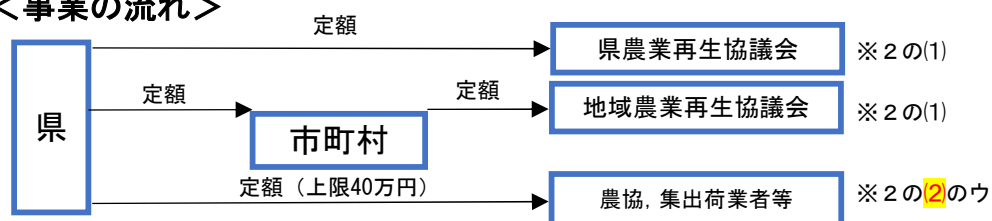
- ア 「生産の目安」に設定に必要な情報収集, 助言指導等(県)
- イ 県及び地域農業再生協議会への取組支援[県: 定額]

(2) 気候変動に対応した米づくり等の推進

- ア 推進業務委託(委託先: 県米・麦等対策協議会)[県: 定額]
- イ 高温耐性を有する多収品種の栽培技術の普及, 技術指導等(県)
- ウ 加工用米, 飼料用米の生産拡大に向けた取組支援
事業主体: 農協, 集荷業者等[県: 定額(上限40万円)]

3 事業期間 令和5年度~令和9年度(5年間)

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1 実効性のある需給調整の推進

- 「生産の目安」の設定, 情報提供[県→地域→生産者]
- 主食用米の生産推進に向けた意識醸成
- 県内の需給動向の把握

2 気候変動に対応した米づくり等の推進



高温耐性品種の普及に向けた現地検討会や試食会の開催



県産米のPR資料作成・配布



再生二期作栽培



飼料用米の生産・集出荷



排水対策技術研修会の開催

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課水田農業対策係 (099-286-3197)

9 生産振興，販売・流通等に関する施策（9（3））

■ かがしま茶産地力向上条件整備事業【継続】

【令和8年度予算額 1,072,951千円】

財源（国庫：1,072,798千円，一財：153千円）

<対策のポイント>

担い手の育成や産地力の強化に必要な農産物処理加工施設（荒茶加工施設）や作物被害防止施設（防霜施設）等の整備を支援し，産地力の強化を目指す。

<政策目標>

本県荒茶の全国シェアの拡大（32%【平成29年】→ 40%【令和10年】）

※ 未来創造ビジョン体系 1 0 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化，付加価値の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的

担い手の育成や産地力の強化に必要な荒茶加工施設等の整備を支援する。

2 事業主体

市町村，農業協同組合，農業者の組織する団体 等

3 事業内容

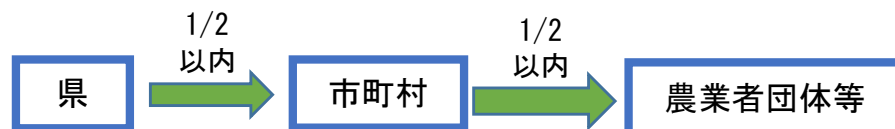
(1) 農産物処理加工施設（荒茶等加工施設），集出荷貯蔵施設等の整備支援（国：1/2以内）

(2) 農作物被害防止施設（防霜施設）の整備支援（国：1/2以内）

4 事業期間

令和2年度～

<事業の流れ>



<事業イメージ>



需要に対応した荒茶等加工施設の整備



機械整備による産地力の強化

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課茶業係（099-286-3200）

9 生産振興、販売・流通等に関する施策（9（3），（5））

【令和8年度予算額 11,813千円】
財源（一財：11,813千円）

■ 「かごしま茶」魅力発信事業【継続】

<対策のポイント>

「かごしま茶」のブランド力向上を図るため、県内外におけるPR活動や茶商等が行う商品開発・販路拡大への支援、観光と連携した「かごしま茶」を体験する機会の提供を行う。

<政策目標>

「かごしま茶」の取引店舗数の増加（338店舗【令和4年】→386店舗【令和8年】）

※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的

「かごしま茶」の**認知度向上対策**、県内外におけるPR活動や茶商等が行う「かごしま茶」の強みを生かした商品開発や販路拡大への支援、観光と連携した「かごしま茶」を体験する機会の創出等により、「かごしま茶」のブランド力向上を図る。

2 事業主体

県：定額

（公社）茶業会議所：1/3以内（上限：3,250千円）

県内茶商等：1/2以内（上限：500千円）

3 事業内容

「かごしま茶」のブランド力向上対策

ア 「生産量日本一のかごしま茶」の認知度向上対策

イ かごしま茶の強みを生かした商品開発・販路拡大支援

ウ 観光と連携した「かごしま茶」ファン獲得対策

4 事業期間

令和6年～8年度（3か年）

<事業イメージ>

「かごしま茶」のブランド力向上対策

ア 「生産量日本一のかごしま茶」の認知度向上対策

- ・ 県内外の商業施設等のビジョンを活用したPR広告やかごしま茶屋、県内外の消費地での「かごしま茶」販売協力店等と連携したキャンペーン等の実施

イ かごしま茶の強みを生かした商品開発・販路拡大支援

- ・ 県内茶商等によるボトルドティーやシングオリジン等、付加価値の高い商品開発・販路拡大の支援

ウ 観光と連携した「かごしま茶」のファン獲得対策

- ・ キッチンカーを活用した「かごしま茶」のPR、県内観光地や県外イベントでの「かごしま茶」の振る舞い



商業施設等のビジョン広告



かごしま茶屋の実施



キッチンカーを活用したお茶ふるまい

<事業の流れ>



多様な消費者に向けた「かごしま茶」の魅力発信

〔お問い合わせ先〕

鹿児島県農政部農産園芸課茶業係（099-286-3200）

9 生産振興, 販売, 流通等に関する施策 (9 (6))

■ 「かごしま茶」の新たな販路開拓支援事業【継続】

【令和8年度予算額 42,951千円】

財源 (国庫: 29,679千円, 一財: 13,272千円)

<対策のポイント>

茶の更なる輸出拡大を図るため, 生産者と茶商との連携による海外商談会への出展や高品質・高付加価値商品の開発, 海外現地パートナー人材を活用した販路拡大などの取組を支援する。

<政策目標>

EUへの茶の輸出額 (3.5億円【令和5年】→15億円【令和12年】)

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 3 販路拡大・輸出拡大

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」(農林水産業の「稼ぐ力」の向上)

<事業の内容>

1 目的

生産者と茶商との連携による海外商談会への出展や高品質・高付加価値商品の開発, 海外現地パートナー人材を活用した販路拡大などの取組を支援し, 茶の更なる輸出拡大を図る。

2 事業主体

県(10/10): 3(1), 3(2)イ

生産者, 茶業会議所等(1/2以内): 3(2)ア, 3(3)

3 事業内容

(1) かごしま茶「せいめい」研究会の活動支援【11,969千円】

ア 高品質茶生産技術検証【750千円】

イ 品質向上研修会の開催【285千円】

ウ 「かごしま茶」の認知度向上【10,934千円】

(2) 海外販路開拓支援【26,932千円】

ア 輸出向け生産体制・販路開拓及び高付加価値新商品等開発支援【24,000千円】

イ 訪日観光客に対する「かごしま茶」の認知度向上【2,932千円】

(3) 海外流通情報の収集と発信【4,050千円】

ア 海外現地デスク等の活用による販路開拓【4,000千円】

イ 「日本茶大使」を活用した「かごしま茶」情報発信【50千円】

4 事業期間

令和7～9年度(3か年)

<事業の流れ・補助率等>

1/2補助(3(2)ア, 3(3))

国, 県



民間団体等

<事業イメージ>

3(1) かごしま茶「せいめい」研究会の活動支援

- 海外需要に対応できる品種「せいめい」の産地化への支援



幼木園の管理状況の検討



茶品質の検討



国際見本市への出展

3(2) 海外販路開拓支援, 3(3) 海外流通情報の収集と発信

- 生産者と茶商との連携による海外商談会への出展や高品質・高付加価値商品の開発など輸出に取り組む事業者の支援
- 海外現地パートナー人材を活用した販路拡大の取組への支援



国際商談会への出展支援



海外への「かごしま茶」情報発信



クルーズ船での訪日客へのPR

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課茶業係 (099-286-3200)

9 生産振興，販売・流通等に関する施策（9（3））

■ 有機栽培茶生産拡大特別支援事業【新規】

【令和8年度予算額 22,130千円】
財源（国庫：22,130千円）

<対策のポイント>

海外での需要が高い有機栽培茶の更なる生産拡大を図るため，除草作業の省力化に資する農業機械の整備を支援する。

<政策目標>

本県有機JAS認証茶園面積の拡大（889ha【令和6年】→ 1,000ha【令和8年】）

- ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化，付加価値の向上
- ※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的

海外での需要が高い有機栽培茶の生産拡大に必要な除草作業の省力化に資する農業機械の整備を支援する。

2 事業主体

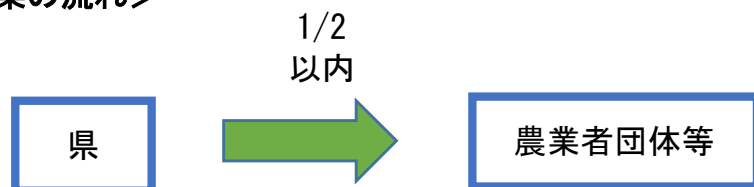
3戸以上の農業者で組織する団体等（1/2以内）

3 事業内容

有機栽培茶の生産拡大に資する栽培管理用機械の整備に対する助成

（例）畝間除草機アタッチ，草刈機ツインモアアタッチ 等

<事業の流れ>



<事業イメージ>



畝間除草機アタッチ



草刈機ツインモアアタッチ

除草作業の省力化に資する機械の整備



機械整備による有機栽培茶の生産拡大

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課茶業係（099-286-3200）

9 生産振興、販売、流通等に関する施策（9（3），12（1））

■ さとうきび産地活性化事業【継続】

【令和8年度予算額 30,184千円】
財源（国庫[奄振交付金]：14,164千円，一財：16,020千円）

<対策のポイント>

さとうきびの生産安定を図るため、「さとうきび増産計画」に基づく取組の推進，優良種苗の原苗ほの設置，農作業受託等に
必要な農業機械の導入等を支援する。

<政策目標>

県増産計画…R17年産：生産量 約56万t，単収 約5.9t/10a，

※ 未来創造ビジョン体系 9-1 島々の魅力を生かした奄美・離島の振興，10-2 生産・加工体制の強化，付加価値の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的

さとうきびの生産安定を図るため、「さとうきび増産計画」
に基づき，優良種苗の原苗ほの設置や農作業受託等に必要な農
業機械の導入等を支援する。

2 事業主体

- (1) さとうきび産地活性化推進事業：県（10/10）
- (2) さとうきび産地活性化実践事業：市町村等（1/3以内）
- (3) さとうきび機械導入等支援事業：
3戸以上の農業者で組織する団体等（1/3以内）

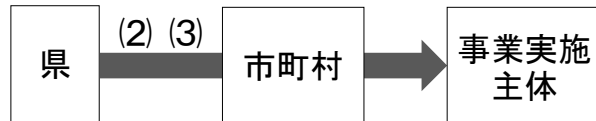
3 事業内容

- (1) 増産計画の着実な実施等 【予算額： 610千円】
- (2) 原苗ほ設置に対する補助 【予算額： 8,438千円】
- (3) 農業機械導入やハーベスタ等の機能向上に対する補助等
【予算額： 21,136千円】

4 事業期間

3(3) 令和7～9年度（3か年）

<事業の流れ>

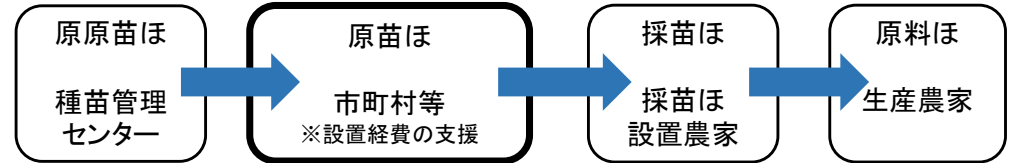


<事業イメージ>

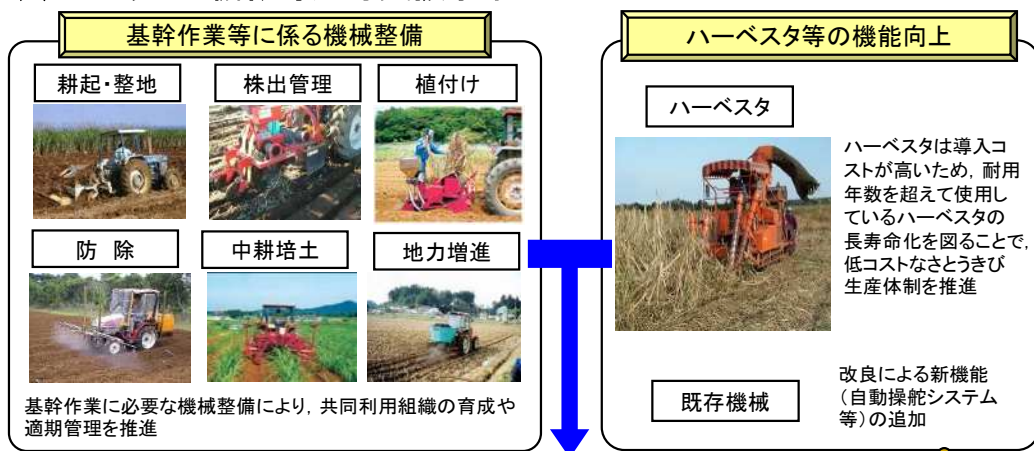
(2) さとうきび産地活性化実践事業(優良種苗供給確保事業)

市町村等が設置する原苗ほに要する経費への補助

(参考)さとうきび種苗増殖の体系



(3) さとうきび機械導入等支援事業



生産基盤の強化により面積の維持・拡大，単収・品質の向上を図る

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課糖業特産作物係（099-286-3202）

10 生産性向上に関する施策（10（4））

■ さつまいも増産対策事業【継続】

【令和8年度予算額 641,587千円】
財源（国庫：625,452千円，一財16,135千円）

<対策のポイント>

基腐病抵抗性品種の種苗生産やほ場の排水対策の支援，地域におけるサツマイモ基腐病等の対策の周知・指導や増産に向けた実証（高温対策等）などの取組を支援し，さつまいもの増産を図る。

<政策目標>

R6年産単収2,300kg/10a → R9年産単収2,600kg/10a

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化，付加価値の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力の向上」（農林水産業の「稼ぐ力」の向上）

<事業の内容>

1 目的

基腐病抵抗性品種の種苗生産やほ場の排水対策の支援，地域におけるサツマイモ基腐病等の対策の周知・指導や増産に向けた実証（高温対策等）などの取組を支援し，さつまいもの増産を図る。

2 事業主体

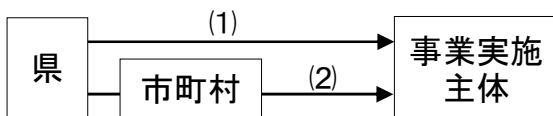
- (1) さつまいも増産対策実践事業：民間育苗業者等(1/2)，県等
- (2) サツマイモ基腐病排水等対策事業：市町村，農業法人等(1/2)
- (3) さつまいも増産技術及び基腐病防除技術の確立：県

3 事業内容

- (1) 健全苗確保や指導体制の強化 【予算額：14,496千円】
基腐病抵抗性品種の面積拡大や地域における基腐病等の対策の周知・指導や増産に向けた実証に要する経費の支援
- (2) ほ場の排水対策等の支援 【予算額：625,452千円】
排水対策及び土層改良を支援
- (3) 増産技術及び基腐病防除技術の確立 【予算額：1,639千円】
基腐病抵抗性品種「コガネタイガン」の多収技術の開発等

4 事業期間 令和8年度～令和9年度（2か年）

<事業の流れ>



<事業イメージ>

(1)民間育苗業者等による健全苗の確保

抵抗性品種の苗購入経費，健全苗確保に要する肥料，農薬などの支援



(2)排水対策等の支援



堆肥散布



混層耕

(1)地域協議会等による農業者等への対策技術の普及・啓発活動

(3)増産技術及び基腐病防除技術の確立

基腐病抵抗性品種「コガネタイガン」の多収技術及び土壌処理剤の適正な処理時期の把握



基本対策の実践による増産及び基腐病の被害軽減

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課糖業特産作物係（099-286-3202）